

SMART Board® 6000 and 6000 Proシリーズインタラクティブディスプレイ

インストールおよびメンテナンスガイド

SPNL-6365-V3/SBID-6365 | SPNL-6375-V3 | SPNL-6265-V3/SBID-6265 | SPNL-6275-V3
SPNL-6065-V3/SBID-6065 | SPNL-6075-V3 | SPNL-6365-V2 | SPNL-6375
SPNL-6265-V2 | SPNL-6275 | SPNL-6065-V2 | SPNL-6075 | SPNL-6055 | SPNL-6065
SPNL-6365P | SPNL-6375P | SPNL-6265P | SPNL-6275P | SPNL-6065P | SPNL-6075P



詳細

このガイド およびSMART Board 6000シリーズインタラクティブディスプレイ用のその他リソースは、SMART ウェブサイトのサポートセクション (smarttech.com/support) からご利用いただけます。お使いのモバイルデバイスでこのQRコードを読み取ると、リソースにアクセスできます。

ライセンス

HDMIおよびHDMI高解像度マルチメディアインターフェースおよびHDMIのロゴは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。BluetoothのワードマークはBluetooth SIG, Inc.の所有であり、SMART Technologies ULCは使用許諾を受けてこのマークを使用しています。

商標表示

SMART Board、SMART Notebook、SMART インク、SMART kapp、SMART kapp iQ、DViT、ペン ID、smarttech、SMARTロゴおよびSMARTのすべてのキャッチフレーズは米国および、またはその他の国のSMART Technologies ULCの商標または登録商標です。Windowsは、米国および、またはその他の国のMicrosoft社の登録商標または商標です。Apple、Mac、macOS、OS X、iPhone、iPad、iPod touch、iTunes、AirPlayおよびBonjourはApple社の商標であり、米国およびその他の国で登録されています。Google、Google Cast、Google Play、Android、Chrome、Chromebook、およびChromecastはGoogle Inc.の商標です。AirParrotはSquirrels LLCの商標で、米国およびその他の国で登録されています。その他、すべてのサードパーティ製品および会社名は、それぞれの所有者の商標である場合があります。

著作権表示

© 2017–2018 SMART Technologies ULC. All rights reserved. SMART Technologies ULCの事前の書面による許可なく本書の一部または全部を複製、転載、頒布、ならびに形式、方法を問わず他言語へ翻訳することは禁止されています。本書の内容は予告なく変更される場合がありますが、SMART Technologiesが変更を約束するものではありません。

ここに記載された本製品やその使用法は、以下の米国の特許によって保護されています。

www.smarttech.com/patents

2018年11月

注意事項

警告

- ディスプレイに付属の設置指示書に従わない場合、保証書で補償されない場合のある作業者のケガや製品の損傷につながる場合があります。
- ディスプレイを開けたり分解しないで下さい。筐体内の高電圧で感電する危険性があります。また、筐体を開けた場合には、保証は適用されません。
- ディスプレイの画面にタッチするために椅子に乗らないでください。(特にお子様には)ご注意ください。椅子などを使用する必要がないように、適切な高さに製品を取り付けてください。
- 火事や感電の恐れがありますので、ディスプレイは雨にさらしたり湿気のあるところに置かないでください。
- ディスプレイに部品の交換が必要な場合は、SMART Technologiesの指定する交換部品、または元の部品と同等の特性を持つ部品を使用することをご確認ください。
- 床に配線されたディスプレイのケーブル類は、適切に束ねた上で、つまずきの危険防止標識が付けられていることを確認してください。
- 危険な電圧部分に触れる可能性があり、保証の対象ではない恐れのある電気ショック、火災や製品損傷の原因となるので、キャビネットの換気口内に物を入れないでください。
- 電源ケーブルの上に重い物を置かないでください。ケーブルへの損傷が、保証の対象ではない恐れのある衝撃、火災や製品損傷の原因となる可能性があります。
- ディスプレイの有極プラグに完全に対応することができる延長コードと差込口のみを使用します。
- ディスプレイに付属の電源ケーブルを使用します。電源ケーブルが供給されない場合は、供給業者にお問い合わせください。電源コンセントのAC電圧に一致する電源ケーブルのみを使用し、さらに国の安全基準を遵守します。
- ガラスが破損している場合は、液晶に触れないでください。怪我を防ぐために、廃棄の際にはガラスの破片を慎重に取扱います。
- 取っ手にロープやワイヤーをつないでディスプレイを移動または取付しないでください。ディスプレイが重いと、ロープ、ワイヤー、取っ手の不具合が、怪我につながる恐れがあります。
- VESA®認定のマウントのみを使用して下さい。

-
- ディスプレイのすべての電源ケーブルをコンセントから外し、次のいずれかが発生した場合、資格のあるサービス担当者からの支援を求めます。
 - 電源ケーブルまたは電源プラグが破損している
 - ディスプレイに液体をこぼした
 - ディスプレイに物を落とした
 - ディスプレイの落下
 - ひび割れなどの、構造上の損傷の発生
 - 取扱説明書厳守時のディスプレイの予期せぬ動作
-

⚠ 注意事項

- ディスプレイ画面をクリーニングする前にコンピューターをシャットダウンするか切断します。こうすることで、スクリーンを拭いたときにデスクトップアイコンがぼらぼらになったり、アプリケーションの誤起動を防ぐことができます。
- 過度にほこりや湿気の多い場所、または煙が充満した場所ではディスプレイを使用しないでください。
- カメラWindowsおよび反射テープの埃の蓄積は、タッチの性能を低下させます。SMARTでは、蓄積についてカメラWindowsおよび反射テープを検査し、毎週清掃することをお勧めします。
- ディスプレイの近くに電源用のコンセントがあり、使用中に手が簡単に届くことを確認してください。
- ディスプレイは、ヨーロッパのTNおよびTT出力分配システムのみでの使用にする必要があります。

ヨーロッパの一部の国で使用されている旧式のITタイプの配電システムには適合していません。「このシステム(ITタイプ)は、地面から離れた状態で広く使用されていますが、フランスでは一部で230/400Vでインピーダンスを通して接地され、ノルウェイでは、電圧制限器により中性非分配型で230Vのライン間電圧で使用されています」(IEC60950:1999)

ディスプレイを設置する際に使用可能な電源システムのタイプに関して不明な点がある場合は、担当者までお問い合わせください。

- アクセサリスロットの最大利用可能電力は60wです。スロットには、電源の制限はありません。火災の危険性を減らすために、スロットに接続する付属品がIEC 60950-1の防火エンクロージャ要件を満たすことを確認します。
 - 必ず、ディスプレイに付属のUSBケーブルを使用し、USBロゴマークのあるコンピューターのUSBインターフェースに接続してください。さらに、USBコンピュータはCSA/UL/EN60950に準拠しており、CEマークとCSA/UL60950用のCSAおよび、またはULマークが付いていなければなりません。こうした規定は、安全な操作と、ディスプレイへの損傷を防ぐためのものです。
-

重要事項

- ディスプレイの通常の動作電源要件は下記になります。

モデル	電源条件
SPNL-6000-V3/SBID-6000モデル	
SPNL-6365-V3/SBID-6365	AC100v-240v、50Hz-60Hz、92W
SPNL-6375-V3	AC100v-240v、50Hz-60Hz、xxxW
SPNL-6265-V3/SBID-6265	AC100v-240v、50Hz-60Hz、92W
SPNL-6275-V3	AC100v-240v、50Hz-60Hz、xxxW
SPNL-6065-V3/SBID-6065	AC100V-240V、50Hz-60Hz、83W
SPNL-6075-V3	AC100v-240v、50Hz-60Hz、xxxW
SPNL-6000-V2モデル	
SPNL-6365-V2	AC100v-240v、50Hz-60Hz、113W
SPNL-6375	AC100v-240v、50Hz-60Hz、190W
SPNL-6265-V2	AC100v-240v、50Hz-60Hz、113W
SPNL-6275	AC100v-240v、50Hz-60Hz、190W
SPNL-6065-V2	AC100v-240v、50Hz-60Hz、110W
SPNL-6075	AC100v-240v、50Hz-60Hz、<131W
SPNL-6000-V1モデル	
SPNL-6055	AC90v-240v、50Hz-60Hz、130W
SPNL-6065	AC100v-240v、50Hz-60Hz、200W
SPNL-6000Pモデル	
SPNL-6365P	AC100v-240v、50Hz-60Hz、113W
SPNL-6375P	AC100v-240v、50Hz-60Hz、190W
SPNL-6265P	AC100v-240v、50Hz-60Hz、113W
SPNL-6275P	AC100v-240v、50Hz-60Hz、190W
SPNL-6065P	AC100v-240v、50Hz-60Hz、110W
SPNL-6075P	AC100v-240v、50Hz-60Hz、<131W

- 追加要件およびその他の情報は、ディスプレイの仕様書 (13 ページ [詳細情報](#)) を参照してください。

注意事項

米連邦通信委員会の干渉に関する声明

本デバイスは、FCC規則第15章に準拠しています。操作は次の2つの条件に従うものとします：(1)本デバイスが有害な干渉を引き起こさない事、(2)本デバイスが望ましくない操作を引き起こす干渉を含め、受信した何らかの干渉を受け入れる必要がある事

この機器は、検査を行い、FCC規則第15章で定められたA分類のデジタル機器の規制に準拠することが確かめられました。これらの規制は、住居への設置での有害な混信に対し妥当な保護機能を提供することを目的としています。本装置は、無線周波数を生成・使用・発信するもので、指定の方法に従わずに設置・使用すると、無線通信に関し有害な混信を引き起こす場合があります。ただし、特定の設置において干渉が発生しないという保証はありません。この装置がテレビやラジオに有害な干渉を引き起こす場合、装置をON/OFFにすることによって確認できますが、ユーザーは、次の措置のいずれかによって干渉の修正を試みることを推奨されます。

- 受信アンテナの位置や方向を変える。
- 装置と受信機の間隔を広げる。
- 受信機が接続されている別の回路のコンセントに装置を接続する。
- 販売店または経験のあるラジオ/テレビ技術者にサポートの相談をする。

FCCによる警告：コンプライアンス担当責任者による明確な承認のあらゆる変更または修正が本装置を操作するユーザーの権限を無効にする可能性があります。

本送信機は他のアンテナまたは送信機とつないで共存または操作されないようにする必要があります。

5.15-5.25GHz周波数帯域稼働は、屋内での使用のみに制限されます。5150~5250MHzでの屋外操作が禁止されています。

放射線被爆ステートメント

本装置は、FCCの被曝制限の制御されていない環境に対して規定に準拠しています。本装置は人体と放射体の間に20cmの最小距離を設けたり、管理する必要があります。

注：国コードの選択は米国外向けモデルのみとし、すべての米国モデルは利用できません。FCC規則毎に、米国で市販されているすべてのWi-Fi製品は米国での稼働チャンネルのみに修正する必要があります。

カナダ産業界省ステートメント

本デバイスは、カナダの産業界規則RSS-247に準拠しています。操作は次の2つの条件に従うものとします：(1)本デバイスが有害な干渉を引き起こさない事、(2)本デバイスが望ましくない操作を引き起こす干渉を含め、受信した何らかの干渉を受け入れる必要がある事

注意事項

(i)5150-5250MHz帯域での操作用デバイスは同一チャンネルの携帯電話衛星システムへの有害な干渉の可能性を軽減するために屋内使用のみとなります。

(ii)5250-5350MHzおよび5470-5725MHzの帯域で、デバイス用に許可された最大アンテナ利得はe.i.r.p.制限に準拠するものとし、そして

(iii)5725-5825MHzの帯域で、デバイス用に許可された最大アンテナ利得は必要に応じてポイントツーポイントとポイントツーポイント以外の操作に指定されるe.i.r.p.制限に準拠するものとします。

(iv)ユーザーは、高出力レーダーが、5250-5350MHzおよび5650-5850MHz帯域のプライマリユーザーとして(つまり、優先ユーザー)割り当てられること、さらにこれらのレーダーがLE-LANデバイスへの干渉および/または損傷を引き起こす可能性がある事も勧告されるものとします。

放射線被爆ステートメント

本装置は、ICの被曝制限の制御されていない環境に対して規定に準拠しています。本装置は人体と放射体の間に20cmの最小距離を設けたり、管理される必要があります。

EU適合宣言

SMART Technologies ULCはここに、ラジオ機器の種類OPS、AM40が2014/53/EU指令に準拠していることを宣言します。

EU適合宣言の完全なテキストは次のインターネットアドレスでご利用可能です: smarttech.com/compliance

EUの周波数帯域と最大送信電力は次のとおりです。

送信帯域(MHz)	最大送信電力EIRP(dBm)
2400–2483.5	19
5150–5350	16
5470–5725	16

制限事項

AT/BE/BG/CZ/DK/EE/FR/DE/IS/IE/IT/EL/ES/CY/LV/LI/LT/LU/HU/MT/NL/NO/PL/PT/RO/SI/SK/TR/FI/SE/CH/UK/HR. 5150MHz-5350MHzは、室内利用限定です。

⚠ 注意事項: 無線周波数の被曝

本装置は、EUの被曝制限の制御されていない環境に対して規定に準拠しています。本装置は人体と放射体の間に20cmの最小距離を設けたり、管理する必要があります。

Windows® 10オペレーティングシステムに関する Microsoft®のステートメント

Windows 10の自動更新は常に有効になっています。ISP料金が適用される場合があります。将来的に更新に関する追加的要件が適用される場合があります。

目次

注意事項	i
米連邦通信委員会の干渉に関する声明	iv
カナダ産業省ステートメント	iv
EU適合宣言	v
Windows 10オペレーティングシステムに関するMicrosoftのステートメント	v
第 1 章: ようこそ	1
本ガイドについて	1
モデルの見分け方	2
特徴	3
構成部品	5
アクセサリ	11
詳細情報	13
第 2 章: ディスプレイをインストール	15
ディスプレイの設置場所への移動	15
壁へのディスプレイの設置	18
スタンドにディスプレイを設置します。	23
第 3 章: 電源とデバイスの接続	25
電源の接続	25
ネットワークへの接続	26
Intel Compute Cardの接続	26
室内のコンピューター、ゲストのノートPC、その他入力源のケーブルの接続	27
外付けスピーカーの接続	28
室内コントローラの接続	28
コネクタパネルの参照	29
iQの参考情報	30
第 4 章: ディスプレイの電源をオンにする (初回)	33
第 5 章: ディスプレイの方向と調整	35
ディスプレイの方向設定	35
ディスプレイの調整	36
第 6 章: ディスプレイのメンテナンス	39
ディスプレイの設置状態の確認	39
画面のクリーニング	39
カメラ窓や反射テープのクリーニング	40
プレゼンス検知センサーのクリーニング	41
通気の確保	41
結露の防止	41
ペンの交換	42

ディスプレイの消灯と点灯	42
ディスプレイのリセット	42
ディスプレイの取り外しと移動	43
ファームウェアおよびソフトウェアの更新	44
第7章:トラブルシューティング	47
電源の問題解決	48
プレゼンス検知に関する問題の解決およびタッチしてスリープを解除します	48
前面コントロールパネルの問題の解決	49
ビデオの問題解決	49
画質の問題解決	50
オーディオの問題解決	52
タッチおよびデジタルインクの問題解決	53
iQの問題解決	54
Intel Compute Cardの問題解決	54
ソフトウェアの問題解決	54
その他の問題に関しては、SMARTナリッジベースを参照してください	54
その他のサポート、販売店へのお問い合わせ	54
付録 A: iQ設定の調整	57
ネットワークの設定	57
カスタマイズ	58
アプリケーションの設定	58
システム設定	59
付録 B: SPNL-6000-V3/SBID-6000オンスクリーンディスプレイメニューの使用	63
オンスクリーンディスプレイメニューの設定の変更	63
画像メニューオプション	64
「サウンドメニューオプション」	64
OSDメニューオプション	65
メニューオプションのセットアップ	65
メニューオプションについて	66
付録 C: SPNL-6000-V2、SPNL-6000-V1、およびSPNL-6000Pオンスクリーンディスプレイメニューの使用	67
オンスクリーンディスプレイメニューの設定の変更	68
SPNL-6000-V2およびSPNL-6000Pのメニューオプション	69
SPNL-6000-V1メニューオプション	72
付録 D: ディスプレイのリモート管理	77
コンピューターのシリアルインターフェースの設定	78
電源モード	78
コマンドと応答	79
SPNL-6000-V3/SBID-6000 コマンドインベントリ	80
SPNL-6000-V2 / SPNL-6000Pコマンドインベントリ	86
SPNL-6000-V1 コマンドインベントリ	93
リモート管理の問題解決	98

目次

付録 E: ハードウェア環境コンプライアンス	99
廃電気電子機器 (WEEE)	99
More information	99

第 1 章 ようこそ

本ガイドについて	1
モデルの見分け方	2
SMART Board 6000または6000 Proシリーズインタラクティブディスプレイモデルの識別	2
お使いのiQコントローラモデルの特定方法	3
特徴	3
構成部品	5
iQコントローラ(およびIntel Compute Card)	5
画面	6
レーザー付きペン	8
フロントコントロールパネル	8
プレゼンス検知センサー	10
内蔵スピーカー	11
アクセサリ	11
SMARTウォールマウント およびウォールスタンド	11
SMART可動式スタンド	12
SBA-100オーディオシステム	12
SMART Audio 400教室用音響システム	12
USB延長ケーブル	12
詳細情報	13

本章では、SMART Board® 6000または6000 Proシリーズのインタラクティブディスプレイをご紹介します。

本ガイドについて

本ガイドでは、SMART Board 6000または6000 Proシリーズのインタラクティブディスプレイの設置およびメンテナンスの方法についてご説明します。次の情報が含まれています。

- ディスプレイを設置する方法
- 電源とデバイスを接続する方法
- 最初にディスプレイをONにして、iQ機器を設定する方法
- 長年使用したディスプレイをメンテナンスする方法
- ディスプレイに関する問題をトラブルシューティングする方法

さらに、本ガイドは、ディスプレイの設定、オンスクリーンディスプレイメニュー、およびリモート管理のサポートについての情報を含んでいます。

本ガイドは、組織でディスプレイをインストールし、メンテナンスする人のためのものです。ディスプレイをご利用になる方向けのその他の書類や資料がご利用可能です(13 ページ 詳細情報をご参照ください)。

モデルの見分け方

SMARTは、複数モデルのSMART Board 6000および6000 Proシリーズインタラクティブディスプレイを提供しています。

SMART Board 6000または6000 Proシリーズインタラクティブディスプレイモデルの識別

SMART Board 6000および6000 Proシリーズのインタラクティブディスプレイの下記のモデルが販売中です。

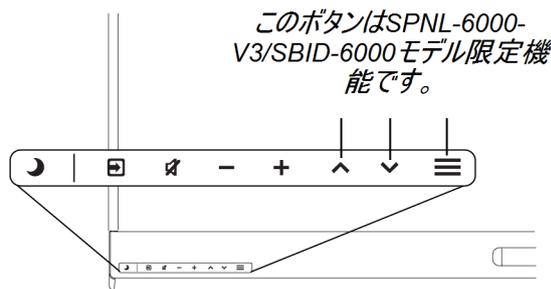
モデル	フレームのスタイル	画面サイズ(概寸)	iQ
SPNL-6000-V3/SBID-6000モデル			
SPNL-6365-V3/SBID-6365	白	65"(165cm)	はい
SPNL-6375-V2	ホワイト	75" (190 cm)	はい
SPNL-6265-V3/SBID-6265	白	65"(165cm)	はい
SPNL-6275-V3	白	75" (190 cm)	はい
SPNL-6065-V3/SBID-6065	ホワイト	65"(165cm)	いいえ
SPNL-6075-V3	白	75" (190 cm)	いいえ
SPNL-6000-V2モデル			
SPNL-6365-V2	白	65"(165cm)	はい
SPNL-6375	白	75" (190 cm)	はい
SPNL-6265-V2	白	65"(165cm)	はい
SPNL-6275	白	75" (190 cm)	はい
SPNL-6065-V2	白	65"(165cm)	いいえ
SPNL-6075	白	75" (190 cm)	いいえ
SPNL-6000-V1モデル			
SPNL-6055	白	55" (140 cm)	いいえ
SPNL-6065	白	65"(165cm)	いいえ
SPNL-6000Pモデル			
SPNL-6365P	艶消し金属	65"(165cm)	はい
SPNL-6375P	艶消し金属	75"(190cm)	はい

モデル	フレームのスタイル	画面サイズ(概寸)	iQ
SPNL-6265P	艶消し金属	65"(165cm)	はい
SPNL-6275P	艶消し金属	75" (190 cm)	はい
SPNL-6065P	艶消し金属	65"(165cm)	いいえ
SPNL-6075P	艶消し金属	75" (190 cm)	いいえ

製品寸法・重量(13 ページ詳細情報を参照)を含むこれらの各モデルに関する詳細な技術情報については、仕様書をご参照ください。

注記

- SPNL-6000-V1モデルは販売を終了しています。
- SPNL-6000-V3/SBID-6000モデルを見分ける最も容易な方法は、前面のコントロールパネルです。SPNL-6000-V3/SBID-6000モデルの前面コントロールパネルの方がボタンの数が3つ多くなっています。



お使いのiQコントローラモデルの特定方法

iQコントローラがアクセサリスロットに接続された一部のモデルでは、iQ機能を使用することができます。SMART は、複数モデルのiQコントローラを提供しています。

[iQ識別ウィザード](#)を使用して、ディスプレイに設置されているiQのモデルを識別します

特徴

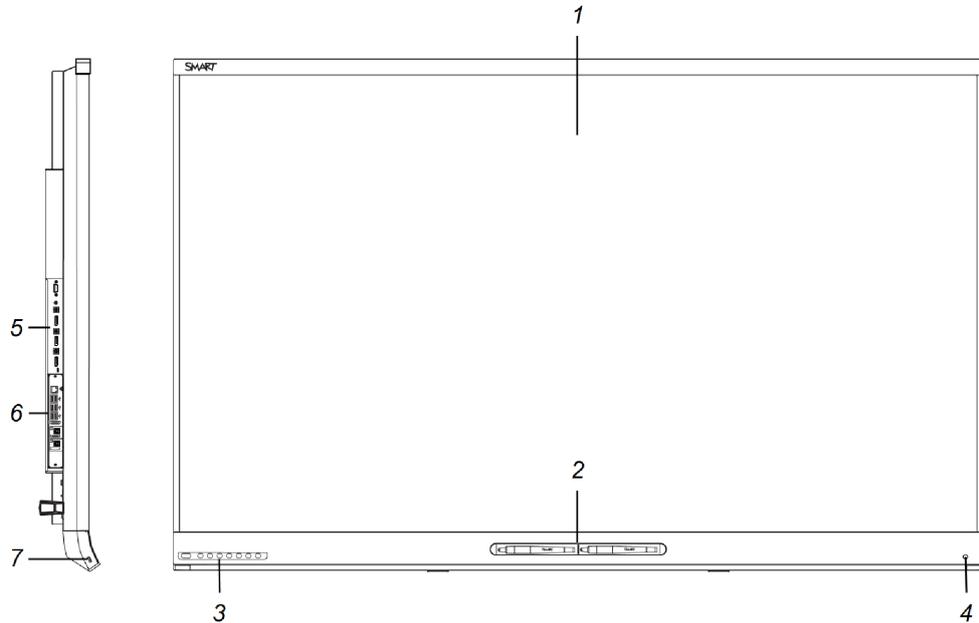
SMART Board 6000または6000 Proシリーズインタラクティブディスプレイは、教室や会議室の中心です。PC不要の組み込みコンピューティングにより、ホワイトボードや、ワイヤレスでの画面共有、ウェブブラウザといったコラボレーションツールにワンタッチでアクセスできます。電線やケーブル、マニュアルファイル、ファームウェアの更新等は不要です。

本ディスプレイの特徴:

特徴	説明
iQの使用	<p>ディスプレイのiQコントローラからワンタッチで、ホワイトボード、ワイヤレス画面共有、ウェブブラウザなどのコラボレーションツールにアクセスできます。</p> <p>SPNL-6365-V3/SBID-6365、SPNL-6375-V3、SPNL-6365-V2、SPNL-6375、SPNL-6365P、およびSPNL-6375Pの各モデルには、Intel Compute Cardが搭載されており、外付けPCやケーブル接続の必要なくWindows 10の機能も指一本で操作することができます。</p>
タッチ操作	<p>アプリケーションの開始と終了、他人と交流、新規ドキュメントの作成や既存ドキュメントの編集、ウェブページの閲覧、ビデオの再生や編集、など、コンピューターでできることはすべて、ディスプレイの表面をタッチする操作で行うことができます。</p> <p>アプリケーションでは縮小、拡大、回転、ズームイン、ズームアウトなどの様々なジェスチャを使用することができます。</p> <p>少なくとも4ヶ所の同時タッチ用のディスプレイのサポートで、お客様と他のユーザーが同時に画面上のオブジェクトを使って情報をやりとりできます。</p>
書き込みおよび描画操作	<p>付属ペンのいずれかを使用してデジタルインクでアプリケーションを上書きし、その後掌またはペンのインク消しを使用してデジタルインクを消去できます。</p> <p>2名が同時にデジタルインクで画面に書き込んだり描画したりできます。Pen ID™機能で、ペン毎に異なる線種などを割り当てることができます。</p>
オーディオの操作	<p>本ディスプレイには、接続された入力ソースからの音声を出力する内蔵スピーカーが含まれています。</p>

構成部品

ディスプレイは、次の部品で構成されています。



No.	名前	詳細情報
図中に表示あり		
1	画面	6 ページ
2	インク消し付ペン(×2)	8 ページ
3	フロントコントロールパネル	8 ページ
4	存在検知センサー	10 ページ
5	コネクタパネル	25 ページ
6	iQコントローラ (およびIntel Compute Card)	5 ページ
7	USBレセプタクル	44 ページ
図中に表示なし		
8	メニューコントロールパネル ¹	67 ページ
9	スピーカー	11 ページ

iQコントローラ (およびIntel Compute Card)

以下のモデルでは、iQコントローラは背面のアクセサリスロットに接続されています。

¹SPNL-6000-V2、SPNL-6000-V1、およびSPNL-6000Pモデルのみ

第1章 ようこそ

- SPNL-6365-V3/SBID-6365
- SPNL-6375-V3
- SPNL-6265-V3/SBID-6265
- SPNL-6275-V3
- SPNL-6365-V2
- SPNL-6375
- SPNL-6265-V2
- SPNL-6275
- SPNL-6365P
- SPNL-6375P
- SPNL-6265P
- SPNL-6275P

iQテクノロジーを利用して、様々な共同作業ツールにアクセスすることができます。

SPNL-6365-V3/SBID-6365、SPNL-6375-V3、SPNL-6365-V2、SPNL-6375、SPNL-6365P、およびSPNL-6375Pの各モデルには、Intel Compute Cardが搭載されており、外付けPCやケーブル接続の必要なくWindows 10の機能も指一本で操作することができます。

注意事項

アクセサリスロットの最大利用可能電力は60wです。スロットには、電源の制限はありません。火災の危険性を減らすために、スロットに接続する付属品がIEC 60950-1の防火エンクロージャ要件を満たすことを確認します。

ヒント

SMARTサポートサイトの*iQ機器のモデルを識別ウィザード*を使用して、iQ機器のモデルを識別します。

画面

画面サイズはモデルにより異なります。

モデル	対角	幅	高さ
SPNL-6000-V3/SBID-6000モデル			
SPNL-6365-V3/ SBID-6365	64 1/2"(163.9cm)	56 1/4"(142.8cm)	31 5/8"(80.4cm)
SPNL-6375-V3	75"(190.5cm)	65" (165.2 cm)	38 5/8" (93 cm)

モデル	対角	幅	高さ
SPNL-6265-V3/ SBID-6265	64 1/2"(163.9cm)	56 1/4"(142.8cm)	31 5/8"(80.4cm)
SPNL-6275-V3	75"(190.5cm)	65" (165.2 cm)	38 5/8" (93 cm)
SPNL-6065-V3/ SBID-6065	64 1/2"(163.9cm)	56 1/4"(142.8cm)	31 5/8"(80.4cm)
SPNL-6075-V3	75"(190.5cm)	65" (165.2 cm)	38 5/8" (93 cm)
SPNL-6000-V2モデル			
SPNL-6365-V2	64 1/2"(163.9cm)	56 1/4"(142.8cm)	31 5/8"(80.4cm)
SPNL-6375	75"(190.5cm)	65" (165.2 cm)	38 5/8" (93 cm)
SPNL-6265-V2	64 1/2"(163.9cm)	56 1/4"(142.8cm)	31 5/8"(80.4cm)
SPNL-6275	75"(190.5cm)	65" (165.2 cm)	38 5/8" (93 cm)
SPNL-6065-V2	64 1/2"(163.9cm)	56 1/4"(142.8cm)	31 5/8"(80.4cm)
SPNL-6075	75"(190.5cm)	65" (165.2 cm)	38 5/8" (93 cm)
SPNL-6000-V1モデル			
SPNL-6055	54 1/2"(インチ) (138.4cm)	47 5/8"(インチ) (121cm)	26 3/4"(インチ) (68cm)
SPNL-6065	64 1/2"(163.9cm)	56 1/4"(142.8cm)	31 5/8"(80.4cm)
SPNL-6000Pモデル			
SPNL-6365P	64 1/2"(163.9cm)	56 1/4"(142.8cm)	31 5/8"(80.4cm)
SPNL-6375P	75"(190.5cm)	65" (165.2 cm)	38 5/8" (93 cm)
SPNL-6265P	64 1/2"(163.9cm)	56 1/4" (142.8 cm)	31 5/8"(80.4cm)
SPNL-6275P	75"(190.5cm)	65" (165.2 cm)	38 5/8" (93 cm)
SPNL-6065P	64 1/2"(163.9cm)	56 1/4" (142.8 cm)	31 5/8"(80.4cm)
SPNL-6075P	75"(190.5cm)	65" (165.2 cm)	38 5/8" (93 cm)

画面の隅にあるカメラは、ディスプレイ全体での指やペンの位置を追跡します。画面は反射テープを含むチャンネルにより囲まれています。

注意事項

- 反射テープは湿気を避けてください。
- 反射テープを取り除いたりまたは傷めないでください。

❗ 重要事項

- ・カメラに干渉するので付箋メモやその他のアイテムを画面に貼り付けないでください。
- ・カメラに干渉するので反射テープチャンネルに物を置かないで下さい。

レーザー付きペン

ディスプレイには、付属の2本のインク消し付ペンが付属しています。

ディスプレイの下側フレームには、ペンを収納するマグネットホルダーがあります。ホルダーからペンを外すとペンが作動し、デジタルインクで描画したり消したりといった作業を行うことができます。

⚠ 注意事項

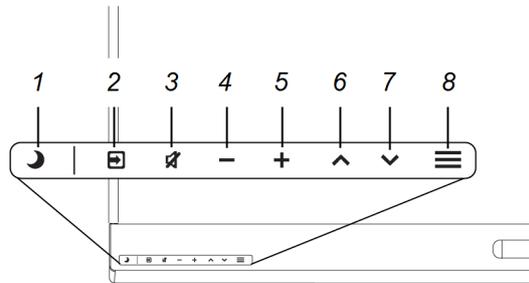
ペンをマグネットホルダーに戻す際は、落下や損傷を避けるためにホルダーの中心に置いてください。

❗ 重要事項

SMART Board 6000および6000 Proシリーズインタラクティブディスプレイ用に設計されたペンのみを使用してください(smarttech.com/kb/171230参照)。

フロントコントロールパネル

フロントコントロールパネルには、「待機」、「入力選択」、「ミュート」、ボリュームコントロールおよびオンスクリーンディスプレイメニューボタンが含まれています。



No.	名前	手順
1	スタンバイ	<ul style="list-style-type: none">・ 押すとスタンバイモードを終了します。・ 2回押すとスタンバイモードになります。・ 押し続けるとディスプレイがリセットされます。

No.	名前	手順
2	選択	<ul style="list-style-type: none"> ・ オンスクリーンディスプレイメニューが開いていない場合は、押して入力を切り替えます。 ・ オンスクリーンディスプレイメニューが開いている場合、押すと現在選択されているメニューが開きます。²
3	ミュート	<ul style="list-style-type: none"> ・ 押すとミュート、またはミュート解除されます。 ・ ボタンを押したままにして画面を固定や解除します。
4	下げる	<ul style="list-style-type: none"> ・ オンスクリーンディスプレイメニューが開いていない場合は、押してボリュームを下げます。 ・ オンスクリーンディスプレイメニューが開いている場合、現在選択されているオプションの値を減少するボタンを押します。²
5	上げる	<ul style="list-style-type: none"> ・ オンスクリーンディスプレイメニューが開いていない場合は、ボリュームを上げるボタンを押します。 ・ オンスクリーンディスプレイメニューが開いていない場合、現在選択されているオプションの値を減少するボタンを押します。²
6	上に移動 ²	押すと現在のメニューの以前のオプションに移動します。
7	下に移動 ²	押すと、現在のメニューの次のオプションに移動します。
8	メニュー ²	<ul style="list-style-type: none"> ・ オンスクリーンディスプレイメニューが開いていない場合は、押してオンスクリーンディスプレイメニューを開きます。 ・ オンスクリーンディスプレイメニューが開いている場合は、押すと以前のメニューに戻ります。 ・ 押したままにすると、オンスクリーンディスプレイメニューが閉じます。

❗ 重要事項

- ・ フロントコントロールパネル上にフィルムがある場合は、フロントコントロールパネルを使用する前に取り外します。
- ・ ボタンを押しても反応しない場合、前面のコントロールパネルが無効になっている場合があります (65 ページ「FBC コントロール」参照)。前面のコントロールパネルを有効にするには、スタンバイボタンを点灯するまで押し続けてください。

通常動作時、すべてのボタンは白色です。

スタンバイボタンは、インジケータライトとしても機能します。

インジケータライト	ステータス	手順
白色に点灯	通常動作	[N/A]

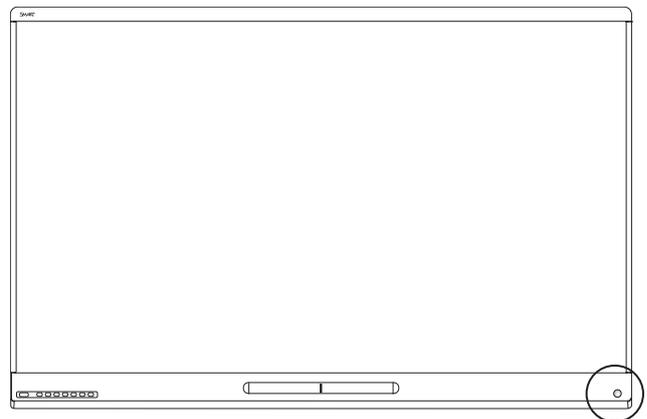
²SPNL-6000-V3/SBID-6000モデルのみ

インジケータライト	ステータス	手順
オフ	電源なし	<ul style="list-style-type: none"> ディスプレイの電源ケーブルが電源コンセントに接続されていることを確認します。 AC電源差込口の横にあるスイッチを(I)の位置のONにフリックします。
オレンジ点灯	DPMS(電源管理)モード	<ul style="list-style-type: none"> 「待機」ボタンを押して 月 DPMS モードを終了します。 入力ソースを接続します。
オレンジでゆっくり点滅	スタンバイモード	<ul style="list-style-type: none"> 「待機」ボタンを押して 月 「待機モード」を終了します。 プレゼンス検知が有効な場合、プレゼンス検知センサーの範囲で移動します。 タッチしてスリープ解除を有効にする場合は、画面にタッチします。
オレンジで点滅	接続されているコンピューターからのUSB接続なし	<ul style="list-style-type: none"> コンピューターへの接続を確認します。 コンピューターの入力に切り替えます。 27 ページ室内のコンピューター、ゲストのノートPC、その他入力源のケーブルの接続を参照してください。
白でゆっくり点滅	接続されているコンピューターで実行されていない SMART Board サービス	SMART 製品ドライバーがインストールされ、SMART Board サービスが実行されていることを確認します。

プレゼンス検知センサー

ディスプレイには、「待機」モードのとき、最大16'(5m)離れたところまで人を検知できる、ディスプレイ下部のフレームにプレゼンス検知センサーがあります。

ディスプレイONオプションが有効になっている場合、センサーが室内に人を検知するとディスプレイが点灯します。一定期間、室内の無人状態が続くと、ディスプレイはスタンバイモードになります。



注記

プレゼンス検知設定はオンスクリーンディスプレイメニューで変更できます。詳細に関しては、SPNL-6000-V3/SBID-6000モデルは65 ページ「近接性」を、SPNL-6000-V2およびSPNL-6000-Pモデルは70 ページ「近接性」を、SPNL-6000-V1モデルは74 ページ「近接性」を参照してください。

内蔵スピーカー

本ディスプレイには、10Wスピーカーが2台内蔵されています。また、外部スピーカーも接続できます(28 ページ外付けスピーカーの接続を参照)。

アクセサリ

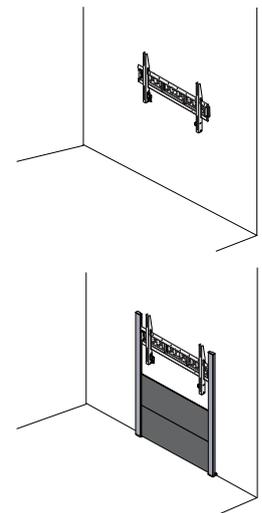
ディスプレイの関連製品は次のとおりです。

- SMARTウォールマウント
- SMARTウォールスタンド
- SMART可動スタンド
- SBA-100プロジェクションオーディオシステム
- SMART Audio 400教室用アンプシステム
- USB延長ケーブル

SMARTウォールマウント およびウォールスタンド

壁にディスプレイを取り付けるには、SMART Wallマウントモデル WM-SBID-501を使用します。For more information about the SMARTウォールマウント, see the SMARTウォールマウント *installation instructions* (smarttech.com/kb/170599).

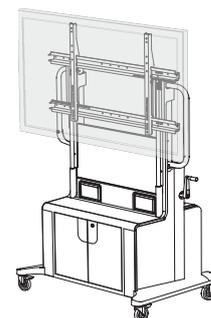
壁がディスプレイの重量を支えることができない場合は、壁から床への重量の一部を逃がすSMART Wallマウントと一緒にSMART Wallスタンドモデル WS-SBID-500を使用できます。For more information about the SMARTウォールスタンド, see the SMARTウォールスタンド *installation instructions* (smarttech.com/kb/170466).



SMART可動式スタンド

SMART可動スタンドには、高さが調節可能で、内蔵スピーカー、簡単な動作で回転やロックする機器とキャスターを固定するロックキャビネットなどがあります。

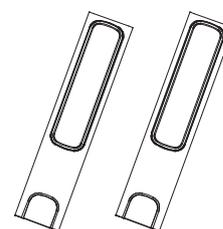
詳細につきましては、*SMART可動スタンド仕様書*(smarttech.com/kb/131862)をご参照ください。



SBA-100オーディオシステム

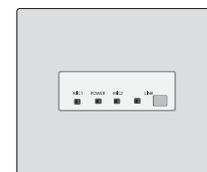
SBA-100オーディオシステムは、14Wスピーカー2台で構成し、教育機関向けの壁面設置型モデルに対応しています。ボリューム調整は、ディスプレイ前面の操作パネルまたは接続したコンピューターのボリュームコントローラで行います。

詳細に関しては、*SBA-100オーディオシステムの仕様*(smarttech.com/kb/171146)を参照してください。



SMART Audio 400教室用音響システム

SMART Audio 400教室用音響システムは教育機関向けモデルに対応した、高品質の音声増幅機能を提供する製品です。教師用マイクとオプションの生徒用マイクが付属しています。壁型および天井型スピーカーで構成する、マルチスピーカーオプションも選択可能です。アンプがマイクから受信したオーディオ信号を、スピーカーが鮮明な音で再現します。



詳細に関しては、*SMART Audio 400教室用音響システムの仕様*(smarttech.com/kb/171137)を参照してください。

USB延長ケーブル

27ページ室内のコンピューター、ゲストのノートPC、その他入力源のケーブルの接続で説明しているとおり、ディスプレイとコンピューター間のUSB接続距離は5 m以内にしてください。5 m以上離れた場所のコンピューターと接続する場合は、次のいずれかのUSB延長ケーブルを使用してください。

延長ケーブル	仕様
USB-XT	smarttech.com/kb/119318
CAT5-XT-1100	smarttech.com/kb/170202

詳細情報

本ガイドに加え、SMARTは、ディスプレイ用に次の資料をご用意しています。

文書	リンク
仕様と比較	
SPNL-6365-V3/SBID-6365	smarttech.com/kb/171322
SPNL-6375-V3	smarttech.com/kb/171321
SPNL-6265-V3/SBID-6265	smarttech.com/kb/171138
SPNL-6275-V3	smarttech.com/kb/171139
SPNL-6065-V3/SBID-6065	smarttech.com/kb/171140
SPNL-6075-V3	smarttech.com/kb/171141
SPNL-6365-V2	smarttech.com/kb/171316
SPNL-6375	smarttech.com/kb/171143
SPNL-6265-V2	smarttech.com/kb/171142
SPNL-6275	smarttech.com/kb/171143
SPNL-6065-V2	smarttech.com/kb/171096
SPNL-6075	smarttech.com/kb/171011
SPNL-6055	smarttech.com/kb/170817
SPNL-6065	smarttech.com/kb/170640
SPNL-6365P	smarttech.com/kb/171314
SPNL-6375P	smarttech.com/kb/171313
SPNL-6265P	smarttech.com/kb/171219
SPNL-6275P	smarttech.com/kb/171218
SPNL-6065P	smarttech.com/kb/171234
SPNL-6075P	smarttech.com/kb/171235
AM50	smarttech.com/kb/171263
AM40	smarttech.com/kb/171182
AM30	smarttech.com/kb/171097
比較	smarttech.com/kb/171161
設置手順	
SPNL-6000-V3/SBID-6000	smarttech.com/kb/171193
SPNL-6000-V2およびSPNL-6000P (65"モデル)	smarttech.com/kb/171107
SPNL-6000-V2およびSPNL-6000P (75"モデル)	smarttech.com/kb/170996

文書	リンク
SPNL-6000-V1	smarttech.com/kb/170641
AM50	smarttech.com/kb/171294
AM40	smarttech.com/kb/171199
AM30	smarttech.com/kb/171090
クイックリファレンスおよびガイド	
クイックリファレンス	smarttech.com/kb/171165
ユーザーズマニュアル	smarttech.com/kb/171166
リリースノート	
iQ機器	smarttech.com/kb/171206

これらの文書はSMARTのウェブサイト(smarttech.com/support)のサポートセクションでご利用可能です。サポートセクションでSMART Board 6000および6000 Proシリーズのインタラクティブディスプレイページを表示するために本ガイドの表紙のQRコードをスキャンします。

第2章

ディスプレイをインストール

ディスプレイの設置場所への移動	15
移動用の補助具の使用	16
出入り口、廊下、エレベーターでの移動	16
割れ、欠け、砕けたガラスの処置	17
納品時の梱包材の保管	17
壁へのディスプレイの設置	18
設置場所の選択	18
設置高さの選択	20
壁の状態	20
取付金具の選定	20
ウォールマウントの選択	20
ディスプレイの取付け	21
複数のディスプレイの取付け	22
スタンドにディスプレイを設置します。	23
SMART可動スタンドの使用	23
サードパーティー製スタンドの使用	23

SMARTはディスプレイを設置する設置者の方のみが訓練するのを推奨します。

この章は、設置者向けです。設置者はこの情報と共にディスプレイを設置する前に、ディスプレイに付属している設置手順をお読みください。

警告

ディスプレイの不適切な設置は、怪我や製品の損傷の原因になります。

ディスプレイの設置場所への移動

ディスプレイが届いたら、設置を予定している場所に移動させる必要があります。

最初にディスプレイを設置した後、別の場所に移動する必要がある場合もあります。

重要事項

- ディスプレイの移動はお客様の責任で行ってください。SMARTは、ディスプレイの移動中に生じた製品への損傷や作業者の怪我については責任を負いません。

- ディ스플레이の移動は、次のように行ってください。
 - 設置場所の安全規則と基準にしたがってください。
 - 元の梱包にディスプレイを保管してください。
 - 上のフレームを上に向けて状態で、ディスプレイを移動します。
 - ディ스플레이の移動は、少なくとも2人で行ってください。

ヒント

ディスプレイの梱包材に前面を示すラベルが付いている場合があります。移動中の箱の向きを決める際、梱包に"FRONT"の表示を探してください。

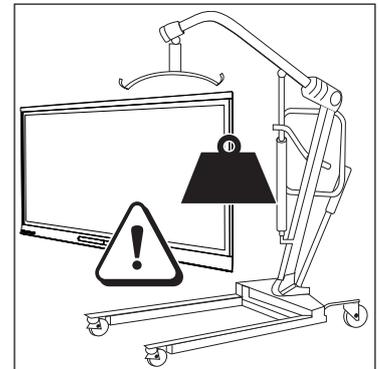
移動用の補助具の使用

ディスプレイの移動には、次のような補助装置を使用することができます。

- カート
- 家具用台車
- 吊り上げ装置

注記

大型で、重量のあるモデルには、吊り上げ装置で使用するアイボルト取付穴があります。吊り上げ装置の使用方法に関しては、当該モデルの設置手順を参照してください。



出入り口、廊下、エレベーターでの移動

状況によっては、狭い出入り口や廊下、エレベーターに通すためにディスプレイの保護材を外す必要もあります。このような場合、SMARTでは、ディスプレイ下側の角部の緩衝材は外さないでおくことを推奨します。これは、移動中にディスプレイをいったん床に降ろす必要が生じた際に、ディスプレイを保護するためです。

また、ディスプレイを横向きにする必要のある場合もあります。ディスプレイは移動のために横向きにすることはできますが、設置は必ず縦向きに（上枠が上側になるように）しなければなりません。

割れ、欠け、砕けたガラスの処置

ディスプレイには安全強化ガラスが使用されています。このガラスは衝撃に耐える熱強化ガラスですが、相当な力で衝撃が加わると割れたり欠けたり、粉々に砕けることがあります。(強化ガラスは、割れても鋭利な破片にはならず細かく砕けるようにできています。)温度変化によって小さなひび割れや断片が広がり、ガラスが粉々に砕けることもあります。使用していない場合でもディスプレイのガラスが粉碎する状況については、ナレッジベースの記事、[インタラクティブディスプレイのガラスの破損](#)を参照してください。

ディスプレイのガラスに割れや欠けが生じた場合、専門的な検査の上でSMART認定の修理センターで修理を行います。ディスプレイのガラスが粉碎した場合は、周辺を丁寧に掃除し、ディスプレイを修理または交換してください。

注意事項

ガラスに割れや欠けが生じたり粉碎した場合は、安全上の理由および損傷が悪化することを防ぐため、ディスプレイの設置作業や使用を中断してください。

納品時の梱包材の保管

納品時に付属していた梱包材は、いったん設置したディスプレイを再度移動させる時に使うために、できるだけ保管しておいてください。この梱包材には、衝撃や振動からディスプレイを保護する目的があります。

注意事項

ディスプレイの移動時には、納品時の梱包材または、SMARTの認定販売業者から購入した交換用の梱包材のみを使用してください。正しい梱包材で保護せずにディスプレイを移動すると、ディスプレイが損傷し、保証が無効になる場合があります。

注記

納入時の梱包材を使用できない場合には、同じ梱包材を、SMART認定販売店から直接ご購入いただけます (smarttech.com/where)。

壁へのディスプレイの設置

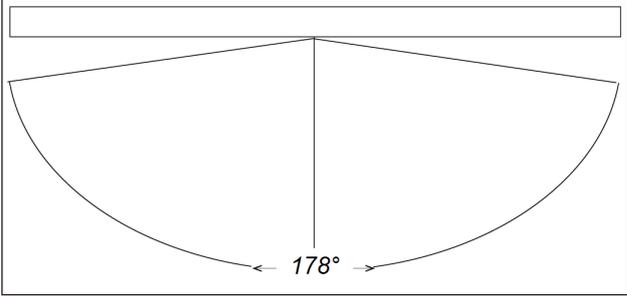
基本的に、ディスプレイは教室や会議室の壁に設置します。

設置場所の選択

ディスプレイは通常、教室や会議室の正面などの部屋の中心となる位置に設置します。

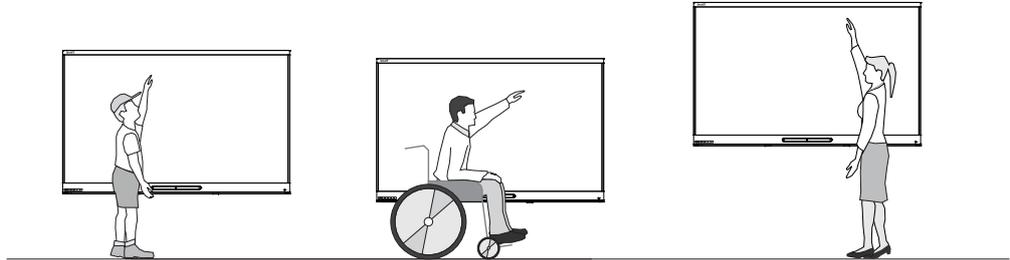
ディスプレイを快適に利用できるよう、ディスプレイに最適な設置場所を選ぶことが重要です。設置場所の選定について、次の要素を考慮してください。

要素	検討内容
室内の状態	<ul style="list-style-type: none">車椅子の人も含めたユーザーがアクセスできる場所。地域のバリアフリーに関する規則を参考にしてください。一度に複数の人がディスプレイにアクセスできる場所。人の動線を考慮し転倒の危険性がない場所。ドアやゲートがぶつかるおそれのある場所には設置しない。ディスプレイにぶつかるおそれのある、扉や引出しの付いた棚や机等の家具が近くにない場所。家具、壁の装飾、その他照明のスイッチや温度計等の室内の用品とディスプレイが、互いに邪魔にならない場所。(移動できるものがある場合、移動させた上でディスプレイを設置してもよい。)
電源その他の接続	<ul style="list-style-type: none">次の各項目に近い場所：<ul style="list-style-type: none">電源コンセントネットワーク接続(有線ネットワーク接続を使用する場合)室内のコンピューター(室内のコンピューターに接続する場合)ディスプレイに接続するスピーカーやその他のデバイス <p>注記</p> <ul style="list-style-type: none">近くに電源コンセントがない場合、電気工業者に相談してください。電源タップ、追加のケーブルや延長ケーブルなどが必要かどうかを判断してください。 <ul style="list-style-type: none">建物の主電源の引き込み口ではない。

要素	検討内容
見やすさ	<p>室内の全員からディスプレイがはっきり見える。SMARTでは、178°の視野角内に座ることを推奨します。</p>  <p>注記</p> <p>画面の見える範囲は、ディスプレイの解像度のほか様々な要因により異なります。詳細に関しては、ナレッジベースの記事、SMART Boardインタラクティブディスプレイの推奨視聴距離と角度を参照してください。</p>
照明	<p>窓際や強力な天井照明などの明るい光源から離れた場所。 光干渉のリスクには次を含みます。</p> <ul style="list-style-type: none">◦ 視界の制限: 光源によりディスプレイの画面にグレアが生じることがあり、これにより視界が制限されます。◦ タッチシステムの干渉: 赤外線(IR)光を、タッチシステムのキーコンポーネントとして表示します。ディスプレイの画面に直接あたる強い光によりタッチシステムとの干渉が発生し、ディスプレイが正しく機能できなくなる場合があります。 <p>ヒント</p> <p>光の干渉を低減するには、窓や天窗にブラインドやシェードを設置し、ディスプレイ画面に光が届く照明については調光や消灯操作の可能なスイッチを設置します。太陽光は、季節により窓から差し込む角度が異なることに注意してください。</p>
音響	<p>部屋の音響は良好です(最高のオーディオパフォーマンスを得るためのSMART Board 6000または6000 Proの設定を参照)。</p>
環境と換気	<ul style="list-style-type: none">• ディ스플레이の仕様書にある環境要件を満たしている場所 (13 ページ詳細情報を参照)。• ディ스플레이が強い振動や塵にさらされない。• 換気装置の空気がディスプレイに直接吹き付けない。• ディ스플레이周辺に、ディスプレイと取付具から熱を逃すための十分な換気または空調が設置されている。SMARTでは、適切な空気の流れを確保するために、ディスプレイの全周に5cm以上のスペースを確保することを推奨しています。• ディ스플레이を凹んだ場所に設置する場合、換気や冷却のため、その壁とディスプレイとの間に10cm以上のスペースを確保してください。

設置高さの選択

ディスプレイの設置高さは、使用者全体の平均的な高さを考慮した上で決定します。



SMARTでは、ディスプレイの最上部が床から1.9メートルの高さになる位置に設置されることを推奨しています。

注記

参加者が(階段教室等の)急な傾斜のある場所に座る場合、設置高さや角度を調整する必要があります。

壁の状態

ディスプレイを設置する壁面が、ディスプレイや取付具の重量を支えられるかどうかを確認してください。壁がディスプレイと取付具の重量を支えることができない場合は、一部の重量を壁から床に分散するSMARTウォールスタンドの使用を(smarttech.com/accessoriesを参照)検討してください。

注記

ディスプレイの質量は、仕様を参照してください(13 ページ詳細情報を参照)。

状況により、壁がディスプレイを支えられるかどうかを判断するために、専門的な調査の依頼が必要になる場合があります。

取付金具の選定

設置に必要な取付金具は、ディスプレイを取り付ける壁の種類によって異なります。

ディスプレイに必要な取付金具については、設置手順を参照してください。

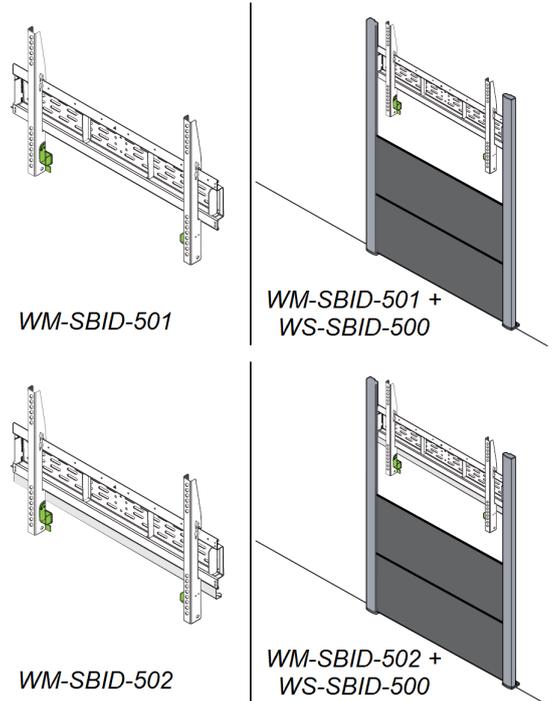
ウォールマウントの選択

ディスプレイの最適な設置場所は、壁です。壁がディスプレイの重量を支えることができない場合は、追加の金具を使用して、重量の一部を床面に逃がします。

第2章 ディスプレイをインストール

SMARTでは、SMART Boardディスプレイに対応するWM-SBID-501およびWM-SBID-502の2つのウォールマンを提供しています。大部分のディスプレイでWM-SBID-501を使用でき、WM-SBID-502は、より大きく重量のあるディスプレイ向きです。これらのマウントは、個別に、またはSMART壁スタンドキットの一部として(WSK-SingleまたはWSK-Dual)購入できます。

これらの壁スタンドキットは自立式のマウントではなく、ディスプレイの重量を支えることができる壁が必要です。

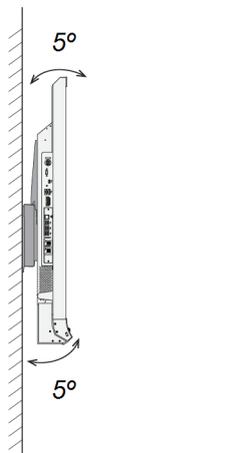


SMARTが提供する設置方法ではなくサードパーティ製の製品を使用して設置する場合、ウォールマウントがディスプレイの重量とアクセサリ重量の両方に耐えられることと、ディスプレイの寸法に適していることを確認してください。

ディスプレイの取付け

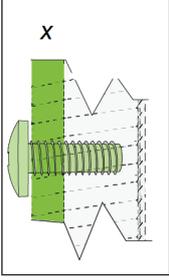
同梱されている取扱説明書に従ってディスプレイを取り付けます。さらに、以下をご考慮ください。

- ディスプレイは垂直方向に(床を基準としてプラス90°または許容差マイナス5°)、横向きに取り付けます。SMARTは、他の角度や縦向きのディスプレイの取り付けをサポートしていません。



- SMART Wallの取付(11ページSMARTウォールマウントおよびウォールスタンドを参照)またはサードパーティ製の標準的なVESAの取付プレートを使用する。

- 壁のブラケットにM8のボルトを使用します。

ボルトの長さ	20mm+xmm<M8<45mm+x mm xは、壁用ブラケットと座金の合計の厚み
	
固定力	97.36–177.01ポンド。(11–20N·m)
	⚠ 注意事項 ボルトを締め付けすぎないでください。

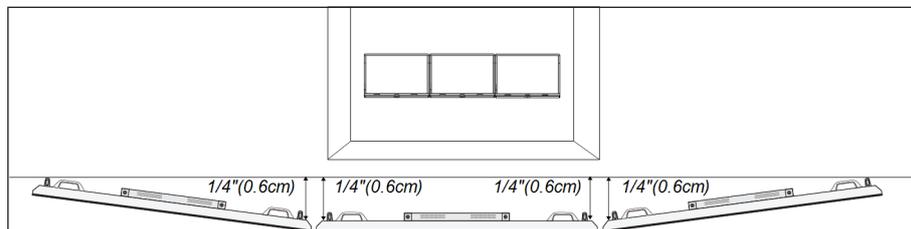
注記

SMARTでは、壁の取り付けブラケットとワッシャーの厚さの合計が7mm未満のものを規格の取り付け用とするM8×30mm取り付けボルトをお勧めします。

- ディスプレイを取り付けた後、差込口には簡単に近づけない場合があるので、ディスプレイがまだ梱包中の中に電源、コンピューターやその他の入力ソース用の接続ケーブルを(25 ページ 電源とデバイスの接続を参照)に検討ください。
- 初めてディスプレイをONにする前に、40 ページカメラ窓や反射テープのクリーニングの手順に従って、カメラ窓や反射テープをきれいにします。

複数のディスプレイの取付け

横並びの複数のディスプレイを取り付けする場合、次の図に示すように、それらを設置します。これにより、ディスプレイのカメラが確実に互いに干渉しないようにします。



スタンドにディスプレイを設置します。

ディスプレイを移動したい場合や壁にディスプレイを設置できない場合は、スタンドに設置することができます。

SMART可動スタンドの使用

SMART可動スタンドは、SMARTインタラクティブディスプレイ用に設計されています。高さ調整機能が付いています。一部のモデルには、内蔵スピーカーや、機器を固定するロック機能付きキャビネット、回転や固定を容易に行えるキャスターなどが付属しています。

SMART可動スタンドの詳細に関しては、smarttech.com/accessoriesを参照してください。

サードパーティー製スタンドの使用

サードパーティー製のスタンドの選択および使用については、[SMART Board 6000または6000 Proのスタンドへの設置](#)をご参照ください。

第3章

電源とデバイスの接続

電源の接続	25
ネットワークへの接続	26
Intel Compute Cardの接続	26
室内のコンピューター、ゲストのノートPC、その他入力源のケーブルの接続	27
外付けスピーカーの接続	28
室内コントローラの接続	28
コネクタパネルの参照	29
iQの参考情報	30

ディスプレイを設置後、電源を接続しますが、電源をオンにする前にiQコントローラの設定を行ってください。室内のコンピューターやゲストのノートPC、その他入力源の接続、スピーカーや室内の各種コントローラ等の接続もこの段階で行います。

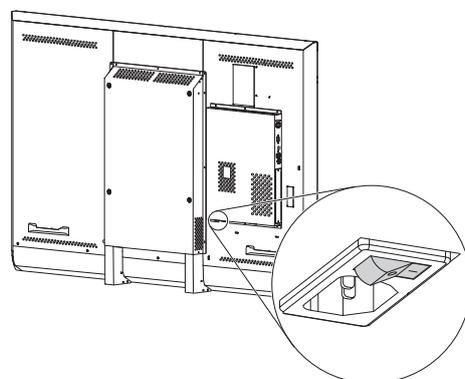
ディスプレイを壁に搭載した後は、接続ポートに手が届きにくくなることもあるため、これらの周辺機器等のケーブルを先に接続しておきます。接続したケーブルは、適宜、床や壁裏などに配線します。

警告

床に配線されたディスプレイのケーブル類は、適切に束ねた上で、つまずきの危険防止標識が付けられていることを確認してください。

電源の接続

付属の電源ケーブルでコンセントとディスプレイ下部のAC電源入力を接続します。

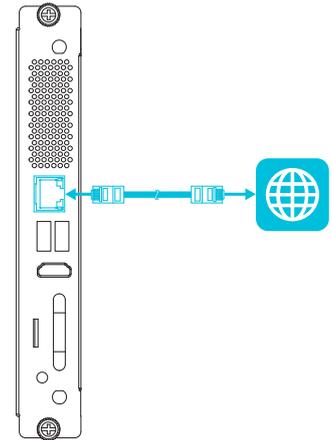


注記

消費電力と消費電力情報(13 ページ 詳細情報を参照)に関するディスプレイの仕様書をご参照ください。

ネットワークへの接続

iQ機器にはソフトウェアの更新をダウンロードするネットワーク接続が必要で、iQ機器のアプリのいくつかも同様にネットワーク接続を必要とします。iQ機器上のWi-Fi接続またはRJ45RJ45ジャックのいずれかを使用してネットワークに接続することができます(画像)。iQ機器のネットワーク接続と設定の詳細につきましては、[ネットワークへの接続](#)を参照してください。



注記

上記の図は、AM40機器のRJ45ジャックの場所を示しています。特定のiQ機器モデルのRJ45ジャックの場所については、30 ページ [iQの参考情報](#) をご参照ください。

Intel Compute Cardの接続

SPNL-6365-V3/SBID-6365、SPNL-6375-V3、SPNL-6365-V2、SPNL-6375、SPNL-6365P、およびSPNL-6375Pの各モデルには、Intel Compute Cardが搭載されています。Insert the Intel Compute Card in the slot on the iQ appliance to access its Windows 10 operating system from the display.

ヒント

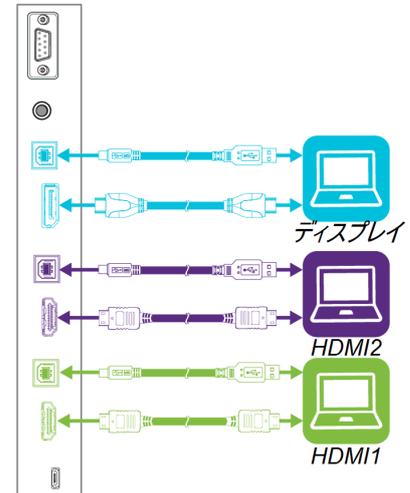
キーボードやマウスなどのアクセサリも、iQコントローラのUSBポート経由でIntel Compute Cardに接続することができます。

室内のコンピューター、ゲストのノートPC、その他 入力源のケーブルの接続

ディスプレイにケーブルを接続できるのでユーザーが接続して教室のコンピューター、ゲストのノートパソコンまたはBlu-rayディスクプレーヤーなどその他のデバイスに接続し、使用できます。

ディスプレイには、コンピューターのコネクタが最大3組含まれています。

- **DisplayPort:** このポートは、タッチ操作用のUSBケーブルと、ビデオおよびオーディオ用のDisplayPortケーブルに対応しています。
- **HDMI 2:** このポートは、タッチ操作用のUSBケーブルと、ビデオおよびオーディオ用のHDMIケーブルに対応しています。
- **HDMI 1:** この一連のコネクタは、タッチコントロール用USBケーブルとAV用HDMIケーブルに対応可能です。



注記

- 上記の図は、SPNL-6000-V3/SBID-6000モデルのコンピューターコネクタを示しています。お使いのモデルで使用可能なコンピューター用コネクタは、25 ページ [電源とデバイスの接続](#) を参照してください。
- 旧モデルのiQ機器 (AM30)がある場合、コンピューターを接続し、コンピューターの入力を表示する「入力アプリ」を使用できます。

SMARTは以下のケーブルの使用を推奨しています。

ケーブル種類	最大長さ	推奨事項
HDMI	7m ¹	必要な性能規格をサポートする検査済認定HDMIケーブルのみを使用します。
DisplayPort	7 m	DisplayPort 1.2 準拠またはそれ以上のケーブルを使用してください。
USB	5 m	コンピューターとディスプレイの間の距離が5mを超える場合、USB延長ケーブルを使用します。詳細に関しては、12 ページ USB延長ケーブル を参照してください。

¹7m以上のケーブルの性能はケーブルの品質に大きく依存します。

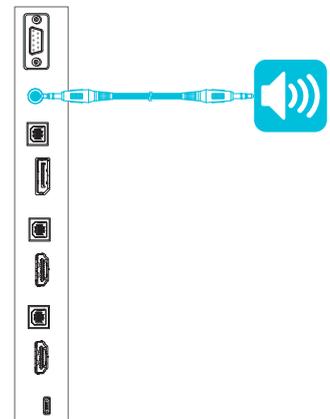
これらの最大長さを超えるケーブルを使用すると、画質の低下やUSB接続の劣化といった予期しない結果につながる可能性があります。

SMARTソフトウェアは、ディスプレイに接続しているコンピューターにインストールしてください。SMARTソフトウェアのインストールおよび、接続済みコンピューターのディスプレイへの表示に関しては、SMART Board 6000および6000 Proシリーズインタラクティブディスプレイユーザーズガイド (smarttech.com/kb/171166) を参照してください。

外付けスピーカーの接続

ディスプレイには10Wスピーカー2台が付属し、これらスピーカーは室内の正面で音を出すよう設計されています。より広い空間でディスプレイを使用する場合には、SBA-100プロジェクションオーディオシステム (12 ページSBA-100オーディオシステム) やサードパーティ製の外付けアクティブ型スピーカーも使用できます。

外付けスピーカーの接続には、3.5 mmステレオ出力ポートを使用します (図)。室内のコンピューターに直接外付けスピーカーを接続することもできます。



注記

上記の図は、SPNL-6000-V3/SBID-6000モデルの3.5mmステレオコネクタの位置を示しています。特定のモデルの3.5mmステレオコネクタの位置については、25 ページ電源とデバイスの接続を参照してください。

室内コントロールの接続

室内制御システムでは、部屋の照明、オーディオシステムとディスプレイを制御することができます。一部の設置のケースでは、ディスプレイを室内制御システムと統合させる必要があります。外部部屋制御システムでもこれが有効かどうかについては、ディスプレイのマニュアルを参照してください。

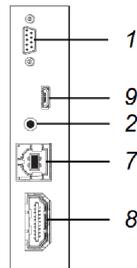
ディスプレイのRS-232コネクタを使用して、サードパーティ製の外付けコントローラをディスプレイに接続することができます (77 ページディスプレイのリモート管理を参照)。

注記

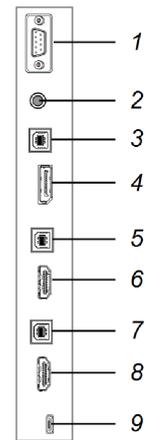
ディスプレイは、ユニバーサルリモートコントロールなどの一元的な遠隔制御システムとの互換性はありません。

コネクタパネルの参照

下の図表で、ディスプレイのコネクタパネルを説明します。



SPNL-6000-V1モデル



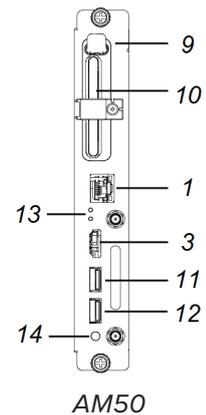
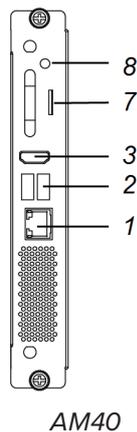
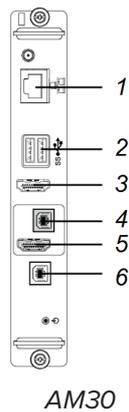
他の全モデル

No.	コネクタ	接続部分	注
1	RS-232	室内制御システム	77 ページおよび RS-232 cables and connectors を参照してください。
2	ステレオ3.5mm	外部スピーカー	27 ページおよび アナログオーディオケーブルとコネクタ を参照してください。
3	USBタイプB	DisplayPort入力端子(タッチ)	27 ページ および USBケーブルとコネクタ を参照してください。
4	ディスプレイポート入力	ディスプレイポート入力端子(ビデオおよびオーディオ)	27 ページ および DisplayPortケーブルとコネクタ を参照してください。
5	USBタイプB	HDMI2入力端子(タッチ)	27 ページ および USBケーブルとコネクタ を参照してください。
6	HDMI入力	HDMI2入力端子(ビデオと音声)	27 ページ および HDMIケーブルとコネクタ を参照してください。
7	USBタイプB	HDMI1入力端子(タッチ)	27 ページ および USBケーブルとコネクタ を参照してください。

No.	コネクタ	接続部分	注
8	HDMI入力	HDMI1入力端子(ビデオおよび音声)	27 ページ および HDMIケーブルとコネクタ を参照してください。
9	USBマイクロ-B	[N/A]	このコネクタはサービスポートです。 注記 このコネクタは、SPNL-6000-V2およびSPNL-6000PモデルのRS-232コネクタの上にあります。

iQの参考情報

次の略図と表はiQ機器でコネクタを表しています。



No.	コネクタ	接続先	注
1	RJ45	ネットワーク	26 ページを参照してください。
2	USB Type-A (×2)	対応している周辺機器	[N/A]
3	HDMI出力	外付けモニター	このレセプタクルはHDCP暗号化HDMIです。 HDMIケーブルとコネクタ を参照してください。
4	USBタイプB	OPS/HDMI入力(タッチ)	27 ページを参照してください。
5	HDMI入力	OPS/HDMI入力端子(ビデオと音声)	27 ページを参照してください。
6	USB タイプ-B	該当なし	このレセプタクルはサービスポートです。

No.	コネクタ	接続先	注
7	Micro SD	該当なし	このレセプタクルはサービスポートです。
8	LED	[N/A]	iQコントローラがアクセサリスロットに搭載されてONになっている場合、LEDが緑色に点灯します。
9	取り出しボタン	該当なし	このボタンでIntel Compute Cardを取り出します。 Intel Compute Cardの取り出し を参照してください。
10	Intel Compute Card	[N/A]	iQコントローラ (AM50) 専用。
11	USB Type-A	対応している周辺機器	iQコントローラ (AM50) 専用。このレセプタクルに接続されている周辺機器は、Windows 10オペレーティングシステムで使用可能です。 入力の使用 を参照してください。
12	USB Type-A	対応している周辺機器	iQコントローラ (AM50) 専用。このレセプタクルに接続されている周辺機器は、iQの機能で使用可能です。 27 ページを参照してください。
13	Lock (ロック) および Eject (取り出し) LED	[N/A]	Lock (ロック) LEDは、iQコントローラ (AM50) をディスプレイから取り外すことができないときに点灯します。 Eject (取り出し) LEDは、iQコントローラ (AM50) をディスプレイから安全に取り外せるときに点灯します。 Intel Compute Cardの取り出し を参照してください。
14	Power (電源) LED	[N/A]	iQコントローラがアクセサリスロットに挿入されONになっていると、LEDが点灯します。
画像なし			
13	Intel Compute Cardラベル	該当なし	iQコントローラ (AM50) 限定。 Intel Compute Card用のラベル。ラベルには、“Assembly, PC, AM50”と表示されています。
13	iQコントローラ (AM50)	該当なし	iQコントローラ (AM50) 限定。 iQコントローラ (AM50) 用のラベル。ラベルには、“Model / AM50”と表示されています。

注記

古いモデルのiQコントローラ (AM30) にはすべてのコネクタは搭載されていません。

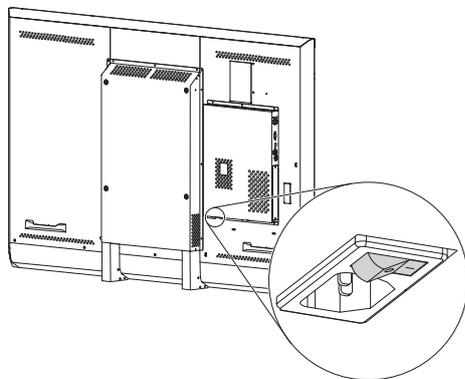
第4章

ディスプレイの電源をオンにする (初回)

ディスプレイ設置し、電源装置と各種デバイスを接続した後、電源を入れます。

ディスプレイへの初回電源投入と設定

1. AC電源差込口の横にあるスイッチを(I)の位置のONIにフリックします。



2. 希望の言語を選択し、**次へ**をタップします。
3. 国名を選択し、**次へ**をタップします。
4. タイムゾーンを選択し、**次へ**をタップします。
5. 日付を設定し、**次へ**をタップします。
6. 時刻を設定し、**次へ**をタップします。
7. ディスプレイに名前を付け、**次へ**をタップします。
8. ディスプレイで有線ネットワーク接続を使用しない場合、無線ネットワークを選択し、**次へ**をタップします。
9. ランチャーに表示するアプリケーションの一覧を選択し、**次へ**をタップします。アプリケーションの詳細は、SMART Board 6000 / 6000 Proシリーズインタラクティブディスプレイユーザーズガイド (smarttech.com/kb/171166) を参照してください。
10. ランチャーに表示させたいアプリを選択し、**次へ**をタップします。

ヒント

ランチャーに表示させるアプリを変更する手順は、[ランチャーに表示するアプリの追加と削除](#)を参照してください。

第 4 章
ディスプレイの電源をオンにする (初回)

11. **完了**をタップします。
ようこそ画面が表示されます。

第 5 章

ディスプレイの方向と調整

ディスプレイの方向設定	35
ディスプレイの調整	36

方向を設定し、調整するためにディスプレイに接続したコンピューターでSMART設定を使用します。

ディスプレイの方向設定

ディスプレイがコンピューターに接続されている場合、画面にタッチし、ディスプレイの方向を設定した時ポインターが実際の接触点から少し離れて表示され、ディスプレイの方向を設定します。

注記

ディスプレイの方向を設定するのに指またはペンを使用できます。

コンピューターに接続されている場合にディスプレイの方向を設定するには

1. SMART設定を開く

オペレーティングシステム	手順
Windows® 10	a. 「スタート」を選択します。 b. SMART Technologies > SMART 設定 をスクロールして選択します。
Windows 8	a. 「アプリ」画面を開きます。 b. SMART Technologies > SMART 設定 をスクロールして選択します。
Windows 7	スタート > すべてのプログラム > SMART Technologies > SMART ツール > SMART設定 を選択します。
MacOS	a. Macのメニューバーにある SMART Board のアイコンを  押します。 b. 「 SMART 設定 」を押します。

SMART設定が表示されます。

2. 方向を設定するを押します。

- 表示されているように赤のターゲットを押します。指またはペンの先で各ターゲットの中心部で押したままにしてから、ペンまたは指を持ち上げてください。ペンや指を持ち上げると、ターゲットは次の方向ポイントに移動します。

! 重要事項

画面に正しい角度でペンを持ちます。

- すべてのターゲットを押すまで続けます。
方向ウィンドウを閉じます。
- 方向が不正確なタッチを正さない場合は、ディスプレイを調整します(36 ページディスプレイの調整を参照)。

ディスプレイの調整

ディスプレイの角にあるデジタルカメラがインタラクティブ画面にあるペン、インク消しや指の位置を追跡し、接続したコンピューターにあるSMARTソフトウェアに情報を送信し、マウスがクリックするように、適切な場所にあるデジタルインクまたはインク消しとしてこの情報を解釈します。調整で、ディスプレイ上のタッチ場所を正確に特定するカメラの位置と角度を決定します。

! 重要事項

ディスプレイの調整時にエラーメッセージが表示される場合には、担当のSMART認定販売店にお問い合わせください(smarttech.com/where)。

コンピューターに接続されている場合にディスプレイを調整するには

- SMART設定を開く

オペレーティングシステム	手順
Windows 10	a. 「スタート」を選択します。 b. SMART Technologies > SMART 設定 をスクロールして選択します。
Windows 8	a. 「アプリ」画面を開きます。 b. SMART Technologies > SMART 設定 をスクロールして選択します。
Windows 7	スタート > すべてのプログラム > SMART Technologies > SMART ツール > SMART 設定 を選択します。
MacOS	a. Macのメニューバーにある SMART Board のアイコンを  押します。 b. 「 SMART 設定 」を押します。

SMART設定が表示されます。

- 「**SMARTハードウェアの設定**」を押します。

3. 複数のSMART製品でお使いのコンピューターに接続する場合は、ディスプレイを選択します。
4. ドロップダウンメニューから「**詳細設定**」を選択します。
5. 「**調整**」を押し、画面の指示に従ってください。

調整画面が表示されます。しばらく時間がかかります。

6. ペンの先にある赤いターゲットを押します。ターゲットが緑に変わるまでターゲットの中心で先を押し続けます。ペンを持ち上げます。

ターゲットは、次の場所に移動します。

注記

キーボードの左矢印キーを押すことによって再びターゲットを調整することができます。

7. 2番目の調整画面とグリッドが表示されるまでターゲットを押し続けます。
インタラクティブ画面を調整するために、画面上に描画する方法を示す例が簡潔に表示されます。
8. ペンを使用して、グリッド上で水平方向に螺旋を描きます。描画する時、インクは青色です。各正方形を完了すると、正方形が緑色になります。
すべての正方形が緑色の場合、進行状況バーが表示されます。
進行状況バーがいっぱいの場合、「調整が成功しました」のメッセージが表示されます。

❗ 重要事項

進む前にディスプレイが正しく動作していることを調整画面が示すまで待ちます。

9. ディスプレイの方向を設定します(35 ページ **ディスプレイの方向設定**を参照)。

第 6 章

ディスプレイのメンテナンス

ディスプレイの設置状態の確認	39
画面のクリーニング	39
カメラ窓や反射テープのクリーニング	40
プレゼンス検知センサーのクリーニング	41
通気の確認	41
結露の防止	41
ペンの交換	42
ディスプレイの消灯と点灯	42
ディスプレイのリセット	42
ディスプレイの取り外しと移動	43
ファームウェアおよびソフトウェアの更新	44
ファームウェアの更新	44
システムソフトウェアの更新	44

ディスプレイを適切に使用することで、長期間使用することができます。

ディスプレイの設置状態の確認

確実に設置され続けるように確保するディスプレイの設置を頻繁に検査します。

- 時間の経過とともに発生するダメージや弱さの兆候について取り付け位置を確認します。
- 取り付けハードウェアで発生する可能性があるネジの緩み、ギャップ、歪みやその他の問題をチェックします。

問題を見つけた場合は、訓練を受けた設置者にお問い合わせください。

画面のクリーニング

防眩コーティングやその他の製造部品を損なうことが無く、画面をきれいにするこれらの手順に従います。

注意事項

- 画面に油性マーカーまたはホワイトボードマーカーを使用しないでください。ホワイトボードマーカーを画面で使用する場合は、糸くずの無い、非研磨布でできるだけ早くインクを落とします。

-
- 高密度または粗度材を使って画面をこすらないでください。
 - 画面に圧力を与えないでください。
 - 劣化したり画面が変色する可能性がありますので、画面に洗浄液やガラスクリーナーを使わないでください。
 - 画面とフレームの間にある反射テープに触れるのを避け、この帯が確実に乾いたままにしておきます。この帯への損傷は、タッチの対話機能に影響します。
-

画面をきれいに

1. あらゆる接続先のコンピューターの電源を切ります。
2. ディスプレイの電源をオフにします (42 ページディスプレイの消灯と点灯参照)。
3. 画面を糸くずの無い、非研磨布でふき取ります。

注記

または、皿の石鹼の一滴で湿らせた布を使用できます。

カメラ窓 や反射テープのクリーニング

ディスプレイのDViT®(デジタルビジョンタッチ)技術は、フレームの角にある4台のカメラと画面とフレームの間の反射材を使用します。カメラ窓または反射テープの埃の蓄積は、タッチの性能を損なう可能性があります。

何らかの明白な蓄積が発生した場合は、これらの場所の埃を定期的に調べ、それらをきれいにしてください。

注意事項

- カメラWindowsおよび反射テープの埃の蓄積は、タッチの性能を低下させます。SMARTでは、蓄積についてカメラWindowsおよび反射テープを検査し、毎週清掃することをお勧めします。
 - カメラ窓または縁をきれいにするのに圧縮空気を使用しないでください。
 - 水、化学薬品や洗浄剤は使用しないでください。
 - テープやカメラを清掃する場合、過度の圧力を加えることは、テープが損傷し、パフォーマンスの問題やエラーを引き起こす可能性があります。
-

カメラ窓 や反射テープをきれいにするには

1. きれいなけぼのない布を使用して、上部の角のカメラ窓と画面の上部にある反射テープを軽く拭きます。

2. 画面の両側に沿って反射テープを軽く拭きます。
3. 下部の角にあるカメラ窓や画面の下部全体の反射帯を軽く拭きます。

プレゼンス検知センサーのクリーニング

ディスプレイには、下部のフレーム(10 ページプレゼンス検知センサーを参照)にプレゼンス検知センサーがあります。

センサーが定期的にはほこりを検査し、蓄積が発生した場合きれいなけいばのない布を使用して軽く拭きます。

注意事項

センサーをきれいにするのに圧縮空気、水、化学薬品や洗剤を使用しないでください。

通気の確保

ディスプレイには、適切な換気が必要です。換気口で積み重なるほこりが冷却を損ね、製品の故障につながる可能性があります。

- 乾いた布で毎月アクセス可能な通気孔をクリーニングします。
- 背面の換気口を定期的に清掃する狭いホースの先端が適合する電気掃除機を使用します。壁からディスプレイを取り外す必要がある場合があります。

ディスプレイの取り外しの詳細に関しては、43 ページディスプレイの取り外しと移動を参照してください。

注意事項

過度にほこりや湿気の多い場所、または煙が充満した場所ではディスプレイの設定や使用を避けてください。

結露の防止

ディスプレイを寒い環境から暖かい環境に移動した場合(例えば倉庫から設置場所)、ディスプレイを数時間そのままにし、新しい温度に適応させてください。適応のための時間を取らないと、フロントガラスとLCDの間で湿気が発生する可能性があります。

ディスプレイをオンにした後で結露が画面の下に発生する場合、アクティブなビデオソースを選択し、ディスプレイを48時間オンにしたままにします。結露が放散されない場合、ディスプレイがまだ保証期間内であればSMARTのサポート部門に連絡してください。

レイヤー間の湿気が多く、水分が滴り落ちたり流れ出る場合には、すぐに電源を切り、ディスプレイがまだ保証期間内であればSMARTのサポート部門に連絡してください。

ペンの交換

ディスプレイの反射防止コーティングを傷めないよう、ペン先やレーザーのパッドが摩耗したペンは交換してください。SMART部品用のストアからペンの交換品を購入できます (smarttech.com/Support/PartsStoreを参照)。

ディスプレイの消灯と点灯

一部の状況で、しばらくの間ディスプレイをOFFにする必要があります。ディスプレイは後で点灯させることができます。

ディスプレイの電源をOFFにする

1. フロントコントロールパネルの「待機」ボタンを  2回押します。
2. AC電源入力のスイッチをOFF (O) 位置に切り替えます。

注記

30秒以上待ってから、ディスプレイの電源をONにします。

ディスプレイの電源を入れる

AC電源差込口の横にあるスイッチを(I)の位置のONにフリックします。

ディスプレイのリセット

フロントコントロールパネルを使用してディスプレイとiQ機器をリセットできます。

ディスプレイをリセットする

1. フロントコントロールパネルにある「待機」ボタン  を押します。
メッセージが画面に表示されると、「待機モード」に入るためにボタンをもう一度押すかまたはディスプレイをリセットするためにボタンを押したままにするかのどちらかを指示されます。
2. 画面が真っ暗になるまで「待機」ボタンを  押したままにします。
ディスプレイとiQコントローラがリセットされます。

ディスプレイの取り外しと移動

壁に設置したディスプレイを、現在の場所から取り外して別の場所に移動する必要がある場合があります。

安全にディスプレイを取り外し、輸送するには、2名以上の訓練を受けた設置者を使います。

警告

- 一人でディスプレイを移動させようとししないでください。ディスプレイはかなりの重量物です。
- 背面のハンドルにロープやワイヤをつないでディスプレイを動かさないでください。ディスプレイが転倒し、怪我や製品の損傷につながる可能性があります。

重要事項

サードパーティ製の取付金具に付属されているマニュアルに従ってください。

ディスプレイの取り外し

1. 接続されているコンピューターの電源をオフにします。
2. ディスプレイをOFFにします(42 ページディスプレイの消灯と点灯を参照)。
3. AC電源入力のスイッチをOFF (O) 位置に切り替えます。
4. 手が届くすべてのケーブルとコネクタを取り外します。
5. アクセサリスロットからiQコントローラを取り外します。
6. ディスプレイを持ち上げます。

警告

傾いていたり安定しない台車やスタンド、テーブルの上にディスプレイを置かないでください。ディスプレイが転倒して、負傷したり製品が大きく損傷したりするおそれがあります。

注意事項

ディスプレイの画面を長期間、上や下に向けた状態、または上下逆の状態で放置しないでください。画面に回復不能な損傷が生じるおそれがあります。

7. 取り付けブラケットを取り外します。

ディスプレイを移動させる

15 ページディスプレイの設置場所への移動を参照してください。

ファームウェアおよびソフトウェアの更新

ファームウェアの更新

ディスプレイは、プロセッサのファームウェアを使用します。SMARTソフトウェアの更新プログラムは、実行可能ファイルをダウンロードしたファームウェアの形でファームウェアの更新プログラムを含んでいる場合があります。ディスプレイは、この実行可能ファイルを検出した場合は、ファームウェアを更新するファイルを実行するよう促されます。

注意事項

- システム管理者だけが、ディスプレイのファームウェアを更新する必要があります。
- 1つのディスプレイのみが、ファームウェアの更新中にコンピューターに接続できます。
- ファームウェアの更新中に、コンピューターからディスプレイを取り外さないでください。
- ファームウェアの更新中に画面や入力ボタンには触れないでください。
- ファームウェアの更新中にコンピューターまたはディスプレイを切らないでください。

ファームウェアを更新するには

[SMART Board 6000 シリーズファームウェア](#)をご参照ください。

システムソフトウェアの更新

ディスプレイがインターネットに接続すると、システムソフトウェアが自動的に更新されます。

システムのソフトウェアの更新が利用可能な場合、ディスプレイがバックグラウンドで更新をダウンロードした後、4分かけて更新をインストールし、その間ディスプレイ動作は無効になります。インストール実行前には2分間のカウントダウンが表示されます。カウントダウンはいつでも停止できます。カウントダウンが終了すると更新が開始します。画面は4分間、空白になります。更新が完了すると、ディスプレイにはホワイトボードと更新以前に表示されていた内容が表示されます。

注記

- 設置場所のネットワークを使用して、システムソフトウェアの自動アップデートを実行させないように設定することができます。
- または、システムソフトウェアのアップデートを[smarttech.com/downloads](https://www.smarttech.com/downloads)からダウンロードすることもできます。USBドライブを使用してディスプレイを更新します。

ディスプレイがシステムソフトウェアの更新プログラムをダウンロードし、更新プログラムをまだ適用していない場合は、設定メニューから更新プロセスを手動で開始することができます。

自動システムソフトウェアの更新を手動で適用する

1. **自動更新**までスクロールします。
2. **更新プログラムを今すぐ確認**の下にある、**更新を今すぐ適用**をタップします。

第7章

トラブルシューティング

電源の問題解決	48
プレゼンス検知に関する問題の解決およびタッチしてスリープを解除します	48
前面コントロールパネルの問題の解決	49
ビデオの問題解決	49
画質の問題解決	50
オーディオの問題解決	52
タッチおよびデジタルインクの問題解決	53
iQの問題解決	54
Intel Compute Cardの問題解決	54
ソフトウェアの問題解決	54
その他の問題に関しては、SMARTナレッジベースを参照してください	54
その他のサポート、販売店へのお問い合わせ	54
ディスプレイのシリアル番号の場所	54
iQコントローラのシリアル番号の場所	55

本章では、以下の、ディスプレイのよくある問題の解決方法を説明します。

- 電源
- プレゼンス検知およびタッチしてスリープを解除
- フロントコントロールパネル
- ビデオ
- 画質
- オーディオ
- タッチおよびデジタルインク
- iQの使用
- Intel Compute Card
- ソフトウェア

ヒント

フロントコントロールパネルの「待機」ボタンは、インジケータライトとしても機能します。ディスプレイに関する一般的な問題を解決するインジケータライトを使用できます。詳細につきましては、8ページフロントコントロールパネルをご参照ください。

電源の問題解決

問題	解決法
ディスプレイと、その電源ランプが点灯しません。	<ul style="list-style-type: none">電源ケーブルが、コンセントとディスプレイの両方にしっかりと固定されていることを確認します。 <p>注記</p> <p>電源バーに電源ケーブルが接続されている場合、電源バーがコンセントにしっかりと固定されており、オンになっていることを確認します。</p> <ul style="list-style-type: none">AC電源差込口の横にあるスイッチが(I)の位置でONになっていることを確認します。別のデバイスでテストして、電源コンセントが動作することを確認します。別のデバイスでテストして、電源ケーブルが動作することを確認します。
ディスプレイがONになり、電源ライトが点灯しましたが、画面に何も表示されません。	<ul style="list-style-type: none">49 ページビデオの問題解決をご参照ください。ディスプレイを再起動します。 <p>42 ページディスプレイの消灯と点灯を参照してください。</p>
コンピューターのマウスまたはキーボードを使用する際に、ディスプレイがONになりません。	<ul style="list-style-type: none">コンピューターがオンになっていることを確認します。ディスプレイがスタンバイモードではなく省電力モードであることを確認します。オンスクリーンディスプレイメニューから、省電力モードを有効にすることができます。 <p>SPNL-6000-V3/SBID-6000モデルは、65 ページ「省電力」を参照してください。</p> <p>SPNL-6000-V2およびSPNL-6000Pモデルは、70 ページ「省電力」を参照してください。</p> <p>SPNL-6000-V1モデルは、74 ページ「省電力」を参照してください。</p> <p>また、SMART Board 6000シリーズと8000i-G5シリーズインタラクティブフラットパネルの電源モードの理解をご参照ください。</p> <p>注記</p> <p>ディスプレイが省電力モードの場合、ディスプレイの電源ライトはオレンジに点灯しています。</p>
その他の電源の問題がある、または上記のソリューションで解決できない問題が発生中です。	<p>54 ページその他の問題に関しては、SMARTナリッジベースを参照してください。</p>

プレゼンス検知に関する問題の解決およびタッチしてスリープを解除します

問題	解決法
ユーザーの入室時にディスプレイがONになりません。	<ul style="list-style-type: none">全てのケーブルがしっかりと接続されており、プレゼンス検出が有効になっていることを確認します。 <p>SPNL-6000-V3/SBID-6000モデルは、65 ページ「近接性」を参照してください。</p> <p>SPNL-6000-V2およびSPNL-6000Pモデルは、70 ページ「近接性」を参照してください。</p> <p>SPNL-6000-V1モデルは、74 ページ「近接性」を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none">プレゼンス検知センサーをブロックしているものが何もないことを確認します。

問題	解決法
必要でない場合ディスプレイは点きません。	<ul style="list-style-type: none"> ユーザーが部屋を出る時間が十分あるように再起動時刻オプションを設定します。 SPNL-6000-V3/SBID-6000モデルは、65 ページ「近接性」を参照してください。 SPNL-6000-V2およびSPNL-6000Pモデルは、70 ページ「近接性」を参照してください。 SPNL-6000-V1モデルは、74 ページ「近接性」を参照してください。 ディスプレイをチェックし、可能であれば次の物体から離します。 <ul style="list-style-type: none"> 直射日光 明るい光 強制換気ダクト プラズマディスプレイ 赤外線オーディオシステムおよびその他の赤外線を発する装置 磨かれた床、ガラス壁、またはその他の反射面 プレゼンス検知センサーの範囲は16' (5 m)であることにご注意ください。
ユーザーが画面をタッチした場合ディスプレイは起動しません。	<ul style="list-style-type: none"> ユーザーは、少なくとも1秒間画面をタッチしていることを確認します。 スケーラーファームウェアが1.1.0.6以前のSPNL-6000-V1モデルでは、画面をタッチしてもスリープ解除されないことに注意してください。
存在検知やタッチしてスリープ解除で別の問題が発生している、または上記解決策で問題が解決しない場合。	54 ページ <i>その他の問題</i> に関しては、SMARTナリッジベースを参照してください。

前面コントロールパネルの問題の解決

問題	解決法
前面コントロールパネルを押しても反応しない。	前面コントロールパネルのスタンバイボタンが点灯するまでボタンを押し続けて、再度有効にします。

ビデオの問題解決

問題	解決法
ビデオで下記または類似の問題が発生中です。 <ul style="list-style-type: none"> ビデオが歪んでいます。 視覚的ノイズがあります。 画像が暗くなっています。 	<ul style="list-style-type: none"> 接続されているコンピューターがオンになっており、スタンバイモードでないことを確認します。 接続されているコンピューターの解像度とリフレッシュレートを、ディスプレイが対応している値に設定します。 ディスプレイと接続されている全てのコンピューターを再起動します。 42 ページ <i>ディスプレイの消灯と点灯</i> を参照してください。 コンピューターとディスプレイを接続しているビデオケーブルを交換し、問題がケーブルにあるかどうか判断します。

問題	解決法
ディスプレイはONになっているが、何も表示されない。	<ul style="list-style-type: none"> 電源ランプが連続点灯または低速点滅している場合、電源ボタンを押してディスプレイをONにします。 SMART Board 6000シリーズと8000i-G5シリーズのインタラクティブディスプレイの電源モードの理解を参照してください。 接続されているコンピューターに電源が入り、スタンバイモードになっていないことを確認します。 オンスクリーンディスプレイメニューを開いて、画面が動作していることを確認します。 ディスプレイと接続されている全てのコンピューターを再起動します。 42 ページ ディスプレイの消灯と点灯を参照してください。 コンピューターとディスプレイを接続しているビデオケーブルを交換し、問題がケーブルにあるかどうか判断します。
コンピューターはディスプレイに接続されているが、「信号なし」または「初期化中」というメッセージのみが表示される。	コンピューターが、現在選択されている入力に接続されていることを確認します。
マルチウィンドウ機能で、1つまたは複数のビデオ入力が動作しない。	マルチウィンドウ機能が正しく設定されていることを確認します。 71 ページ 「マルチウィンドウメニューオプション」 を参照してください。
ビデオを別のディスプレイに出力したい。	<ul style="list-style-type: none"> 新しいAM30 / AM40を搭載したディスプレイのみがビデオ出力に対応しています。 セカンダリディスプレイの使用を参照してください。
ビデオにその他の問題が生じている、または上記解決策で問題が解決しない場合。	54 ページ その他の問題 に関しては、 SMARTナリッジベース を参照してください。

画質の問題解決

問題	解決法
イメージの品質で下記または類似の問題が発生中です。 <ul style="list-style-type: none"> 画面にラインまたはスノーがあります。 ちらつきや点滅がある場合、イメージ 	<ul style="list-style-type: none"> ディスプレイでサポートされている値に、コンピューターの解像度やリフレッシュレートを設定します。 オンスクリーンディスプレイを開きます。これが正常に表示される場合、ビデオ入力に問題があります。 ディスプレイのイメージ設定を調整します。 SPNL-6000-V3/SBID-6000モデルは、64 ページ 画像メニューオプションを参照してください。 SPNL-6000-V2およびSPNL-6000Pモデルは、69 ページ 画像メニューオプションを参照してください。 SPNL-6000-V1モデルは、72 ページ 画像メニューオプションを参照してください。 ディスプレイを再起動します。 42 ページ ディスプレイの消灯と点灯を参照してください。
画面上に、ドット欠けまたは常時点灯のピクセルがあります。	ピクセルの問題 をご参照ください。
画面上に明るい点があります。	<ul style="list-style-type: none"> オンスクリーンディスプレイメニューを開きます。これが正常に表示される場合、ビデオ入力に問題があります。 画面の写真を撮り、SMARTサポートにお送りください。SMARTサポートにより、画面に問題があり、ディスプレイが保証の対象であると判断される場合、代替のディスプレイを提供されます。

第7章
トラブルシューティング

問題	解決法
画像が明瞭ではありません。線が入っているように見えたり、二重にぼやけたり歪んでいるように見えます。	<p>ディスプレイのイメージ設定を調整します。</p> <p>SPNL-6000-V3/SBID-6000モデルは、64 ページ画像メニューオプションを参照してください。</p> <p>SPNL-6000-V2およびSPNL-6000Pモデルは、69 ページ画像メニューオプションを参照してください。</p> <p>SPNL-6000-V1モデルは、72 ページ画像メニューオプションを参照してください。</p>
色が正しく表示されません。	<ul style="list-style-type: none"> 2つ以上のディスプレイを横に並べて取り付ける場合には、ディスプレイの色が少々異なる場合があることに注意してください。これは、SMART製品に特有の問題ではありません。 マルチウィンドウ機能を使用する場合には、各ビデオ入力に独自のイメージ設定があることに注意してください。 工場出荷時リセットを実行します。 <p>SPNL-6000-V3/SBID-6000モデルは、66 ページ工場出荷時リセットを参照してください。</p> <p>SPNL-6000-V2およびSPNL-6000Pモデルは、71 ページ工場出荷時リセットを参照してください。</p> <p>SPNL-6000-V1モデルは、75 ページ工場出荷時リセットを参照してください。</p>
画像が切れるかまたは左右にずれています。	<ul style="list-style-type: none"> 接続しているコンピューターのビデオ設定、特にズーム、クロップ、アンダースキャンを調整します。 <p>コンピューターのオペレーティングシステムのマニュアルをご参照ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> コンピューターのデスクトップが完全な黒の場合は、濃い灰色または別の色に変更します。 コンピューターの背景が複数の画面に拡張している場合、デスクトップを複数画面で重複させるか、1つの画面としてディスプレイを設定します。
画像が画面全体に広がっていません。	<p>接続しているコンピューターのビデオ設定、特にオーバースキャンを調整します。</p> <p>コンピューターのオペレーティングシステムのマニュアルをご参照ください。</p>
ディスプレイにイメージが表示され続けます。	<p>イメージ永続性またはLCDディスプレイ上の焼き付けをご参照ください。</p>
その他のイメージの品質の問題がある、または上記のソリューションで解決できない問題が発生中です。	<p>54 ページ その他の問題 に関しては、SMARTナリッジベースを参照してください。</p>

オーディオの問題解決

問題	解決法
オーディオで下記または類似の問題が発生中です。 <ul style="list-style-type: none">• スピーカーから音が聞こえてこない。• スピーカーから音が聞こえるが、音量が小さい。• 音がひずむかくもった。	<ul style="list-style-type: none">• 外部スピーカーを使用している場合は、スピーカーの電源が入っていることを確認します。• コンピューターにディスプレイ接続するケーブルがしっかりと固定されていることを確認します。• 本製品と接続したコンピューターで音量を調整し、いずれもミュートされていないことを確認します。• ディスプレイのオーディオ設定を調整します。 SPNL-6000-V3/SBID-6000モデルは、64 ページ「サウンドメニューオプション」を参照してください。 SPNL-6000-V2 and SPNL-6000Pモデルは、70 ページ「サウンドメニューオプション」を参照してください。 SPNL-6000-V1モデルは、73 ページ「サウンドメニューオプション」を参照してください。• 接続しているコンピューターのオーディオ出力で、本製品がデフォルトのオーディオデバイスに設定されていることを確認してください。 接続しているコンピューターの、オペレーティングシステムのマニュアルを参照してください。• 内蔵スピーカーを使用している場合、コンピューターと実行中のアプリケーションの音量を80%に設定した後、ディスプレイの音量を調整します。 または 外付けスピーカーを使用している場合、コンピューター、実行中のアプリケーション、およびディスプレイの音量を80%に設定した後、スピーカーの音量を調整します。
ディスプレイ背面から、ウィーンまたはジジジという音が聞こえます。	<ul style="list-style-type: none">• これは正常な音です。すべてのディスプレイ製品が電氣的ノイズを発生しています。このノイズの大きさは、ディスプレイごとに異なります。ただし、ディスプレイ前面から音が聞こえる場合は、詳細な点検が必要になります。• すべてのデバイスを同じ電源コンセントまたは電源タップに接続してください。
問題が解決しない場合、オーディオ機能に別の問題が発生しています。	54 ページ <i>その他の問題</i> に関しては、SMARTナリッジベースを参照してください。

タッチおよびデジタルインクの問題解決

問題	解決法
<p>タッチとデジタルインクで下記または類似の問題が発生中です。</p> <ul style="list-style-type: none">• ユーザーが画面上にタッチまたは書き込む場合、ポインターまたはデジタルインクは間違った場所に表示されます。• タッチしたり、画面上に書き込みしようとする、「機能が制限されています」というメッセージが表示されます。• タッチおよびデジタルインクが途切れます。• ディスプレイは、画面部分にタッチすることのみ応答します。• デジタルインクで書いても消えます。• デジタルインクの色が急に変わります。	<ul style="list-style-type: none">• ペンがインタラクティブ表面を45度の角度以内で接触している、また、手がペンのIRコーンを覆っていないことを確認してください。• ペンを2本使用している場合、間が少なくとも2"(5cm)離れていることを確認してください。• ディスプレイを再起動します。 42 ページディスプレイの消灯と点灯を参照してください。• コンピューターが1本のケーブルのみでディスプレイに接続されていることを設置者と一緒に確認します。• カメラとフレームを全側面においてクリーニングし、カメラの視野をさえぎるようなチリや物体がないことを確認してください。• ディスプレイを調整します。• SMART製品ドライバーとSMART Inkがインストールされ、接続されたコンピューターで実行されていることを確認します。• 別のディスプレイから動作中のペンを使用して、問題がペンによって起こっているかどうかをチェックします。• 白熱灯やアーク灯等の赤外線発生源、デスクランプ、赤外線オーディオデバイスを取り除くか、ディスプレイを部屋の別な場所に移動させます。• SMART診断を使用して、ディスプレイのカメラのいずれかが作動停止しているかどうかを確認します。 ビューメニューを使用を参照してください。• ファームウェアを更新してください。 <p>注記</p> <p>必ずファームウェアを更新した後で、パネルを調整します。</p> <ul style="list-style-type: none">• 壁からディスプレイを取り外し、調整して、問題が解決したかどうかを確認します。問題が解決している場合には、壁と壁のマウントに問題がないかを確認します。
<p>ディスプレイはタッチに反応するが、ペンで書いても反応がありません。</p>	<p>SMART Product Driversを再インストールまたはアップデートします。</p>
<p>ディスプレイはタッチまたはペンのライティングには反応しません。</p>	<p>接続されているコンピューターがディスプレイのUSB接続を検出し、ドライバーをインストールしていることを確認します。Windowsコンピューターでは、デバイスマネージャーを開き、ディスプレイのアイコン上に赤または黄色の感嘆符(!)が表示されていないことを確認してください。Macコンピューターでは、システム情報を開き、ディスプレイの行にエラーメッセージが表示されていないことを確認します。</p>
<p>マルチウィンドウ機能の使用時、ディスプレイがタッチに反応しない。</p>	<p>マルチウィンドウ機能はタッチ操作に対応していません。</p>
<p>Microsoft Officeでは、書き込みや描画を行うことはできません。</p>	<ul style="list-style-type: none">• Microsoft Office 2013以降がインストールされていることを確認してください。• SMART製品のドライバーおよびSMART Inkを、再インストールまたは更新してください。
<p>SMART Inkツールバーは、ペンを使用していない場合も表示されません。</p>	<p>2つ以上のディスプレイを同じ壁に設置している場合は、カメラが互いに干渉しない位置になっていることを確認します。</p>
<p>タッチおよびデジタルインクでその他の問題が発生している、または上記解決策で問題が解決しない場合。</p>	<p>54 ページその他の問題に関しては、SMARTナレッジベースを参照してください。</p>

iQの問題解決

ホワイトボード、SMART Notebook Player、Browser、Input、Screen Shareの各アプリなど、iQの使用に関する問題解決の詳細は、[iQシステムソフトウェアの問題解決](#)を参照してください。

Intel Compute Cardの問題解決

Intel Compute Cardのドライバなどの問題解決は、[Intel Compute CardのWindows 10のトラブルシューティング](#)を参照してください。

ソフトウェアの問題解決

SMARTソフトウェアの問題解決の詳細に関しては、次のSMARTウェブサイトのサポートページを参照してください。

- [SMART Notebook 18のトラブルシューティング](#)
- [SMART Learning Suite Onlineのトラブルシューティング](#)
- [SMART Meeting Pro 4のトラブルシューティング](#)
- [SMART Ink 5のトラブルシューティング](#)
- [SMART Product Drivers 12のトラブルシューティング](#)

その他の問題に関しては、SMARTナレッジベースを参照してください

その他の問題に関しては、SMARTナレッジベースを参照してください。

community.smarttech.com/s/topic/0TOU0000000XIU9OAK/6000-series#articles

その他のサポート、販売店へのお問い合わせ

ディスプレイで発生中の問題が解決しない、このガイドやサポート技術情報で説明されていない場合は、認定SMART販売代理店 (smarttech.com/where) にお問い合わせください。

販売代理店で、ディスプレイやQコントローラのシリアル番号が必要になる場合があります。

ディスプレイのシリアル番号の場所

ディスプレイのシリアル番号は、次の場所にあります。

- オン-スクリーンディスプレイメニュー(66 ページ「シリアル番号」(SPNL-6000-V3/SBID-6000モデル)、または72 ページ「シリアル番号」for SPNL-6000-V2およびSPNL-6000Pモデルs or 75 ページ「シリアル番号」for SPNL-6000-V1モデルs)

- 下部のフレーム上のラベル
- ディスプレイ背面のラベル上

iQコントローラのシリアル番号の場所

iQ機器のシリアル番号は、iQ機器のラベルに表示されています。

注記

シリアル番号ラベルを確認するディスプレイからiQ機器を削除する必要があります。

付録 A

iQ設定の調整

ネットワークの設定	57
カスタマイズ	58
アプリケーションの設定	58
システム設定	59

ホーム画面にある  アイコンから設定画面にアクセスできます。

注記

旧バージョンのディスプレイには、ここに記載しているすべての設定項目は搭載されていません。

ネットワークの設定

オプション	値	機能	注
• Wi-Fi	[N/A]	ディスプレイの接続先のワイヤレスネットワークを表示します。	Wi-FiをONにしてネットワークを検索します。
• [Wi-Fiネットワーク名]	[N/A]	ディスプレイの接続先のワイヤレスネットワークの情報を表示します。	[N/A]
• Wi-Fi MAC アドレス	該当なし	ディスプレイの接続先のネットワークのMAC アドレスを表示します。	[N/A]
• Wi-Fi IP アドレス	該当なし	ディスプレイの接続先のネットワークのIP アドレスを表示します。	該当なし
▶ SMART iQイーサネット			
• 静的 IP	[N/A]	ディスプレイの接続先のネットワークの情報を表示します。	[N/A]
• プロキシ	[N/A]	ディスプレイの接続先のネットワークの情報を表示します。	[N/A]
• MACアドレス	[N/A]	ディスプレイの接続先のネットワークの情報を表示します。	[N/A]

カスタマイズ

オプション	値	機能	注
<ul style="list-style-type: none"> 壁紙 	[壁紙]	背景に表示する壁紙を選択します。	<ul style="list-style-type: none"> 1920×1080サイズの画像が最適です 本ディスプレイは.pngおよび.jpgのファイル形式をサポートしています。 ディスプレイの壁紙の変更を参照してください。

アプリケーションの設定

オプション	値	機能	注
▶ SMART ホワイトボード			
<ul style="list-style-type: none"> ホワイトボードストレージ 	該当なし	該当なし	該当なし
<ul style="list-style-type: none"> ライブラリ 	オン オフ	ホワイトボードセッションの保存を有効/無効にします。	[N/A]
<ul style="list-style-type: none"> ライブラリへのホワイトボードの保存 	1週間 1ヶ月間 無期限に	ホワイトボードセッションの保存期間を設定します。	[N/A]
<ul style="list-style-type: none"> モバイルアプリ 	該当なし	[N/A]	[N/A]
<ul style="list-style-type: none"> ホワイトボードの保存 	オン オフ	SMART kappアプリでキャプチャ機能を有効/無効にします。	このオプションがOFFになっているとQRコードは表示されません。SMART kappアプリはディスプレイに接続できず、このアプリで表示されたスナップショットをモバイルデバイスに保存することもできません。
<ul style="list-style-type: none"> ホワイトボードの共有 	オン オフ	SMART kappアプリの招待機能を有効/無効にします。	このオプションがOFFになっている場合、セッションにほかの人を招待することはできません。
• 書き込み			
<ul style="list-style-type: none"> 書き込みレイヤを有効にする 	オン オフ	ブラウザとScreen Shareアプリへの書き込みを、有効/無効にします。	[N/A]
▶ Screen Share			
<ul style="list-style-type: none"> 許可が必要 	[N/A]	デバイスの自動接続と画面の共有を有効/無効にします。	該当なし
<ul style="list-style-type: none"> 画面共有のリセット 	該当なし	Screen Shareアプリとアプリの検出サービスを終了して、再起動します。	モバイルデバイスまたはコンピューターが検出できないか、ディスプレイに接続できない場合は、Screen Share機能を再起動してトラブルシューティング手順を実行します。

システム設定

オプション	値	機能	注
▶ 日付 & 時刻			
• 自動日付 & 時刻	オン オフ	ディスプレイの日付と時刻を自動で設定します。	ネットワークタイムプロトコル(NTP)からインターネット時刻サーバーへの要求を許可するよう、ネットワークを設定します。 ネットワークへの接続 を参照してください。
• 日付	[N/A]	ディスプレイの日付を設定します。	自動日付 & 時刻 を無効にすると、手動で日付を設定できます。
• 時刻	[N/A]	ディスプレイの時刻を設定します	自動日付 & 時刻 を無効にすると、手動で時刻を設定できます。
• 時刻 (24時間形式)	オン オフ	ディスプレイ上に24時間形式の時刻を表示します。	[N/A]
• タイムゾーン	該当なし	ディスプレイのタイムゾーンを設定します。	[N/A]
• 言語	[言語]	設定メニューの言語を設定します。	SPNL-6000-V3/SBID-6000モデルは65ページ「 言語 」を、SPNL-6000-V2およびSPNL-6000Pモデルは70ページ「 言語 」を、SPNL-6000-V1モデルは74ページ「 言語 」を参照してください。
• 国	国	ディスプレイを設置している国を設定します。	[N/A]
▶ 診断			
• タッチのキャリブレーションウィザード	該当なし	ディスプレイのキャリブレーションを行います	[N/A]
• 工場出荷時リセット	[N/A]	すべてのオプションを既定値にリセットします。	ディスプレイのリセットは管理者以外には行わないでください。
• パフォーマンスのログ	オン オフ	iQの動作に関する診断のログを有効 / 無効にします。	パフォーマンスのログはトラブルシューティングに役立ちます。
• ログファイルの保存	[N/A]	診断ログをUSBドライブにコピーします。	[N/A]
• 操作性の向上	オン オフ	使用状況の統計やエラーレポートをSMARTに送信します。	該当なし
• SMARTクラウドの状態	[状態]	SMARTクラウドの状態を表示します。	該当なし
• サポートID	[サポートID]	ディスプレイのサポートIDを表示します。	該当なし

付録 A
IQ設定の調整

オプション	値	機能	注
▶ セキュリティ			
• 設定のロック	[N/A]	USBドライブにある証明書を使用して、ディスプレイの設定をロックします。	詳細は、 設定アプリのロック を参照してください。
• 証明書のインストール	[N/A]	ネットワーク接続用の証明書をインストールします。	[N/A]
• クリーンアップ	該当なし	[N/A]	[N/A]
• クリーンアップポリシー	無効 クリーンアップボタンで手動でリセットします。 1時間 2時間 3時間 1日	ディスプレイのクリーンアップの頻度を設定します。	[N/A]
• ホワイトボードのクリーンアップ	[N/A]	ホワイトボードのセッションをライブラリに保存し、ホワイトボードを消去します。	[N/A]
• ブラウザのクリーンアップ	[N/A]	ブラウザのタブを閉じ、履歴とキャッシュ、Cookieを消去します。	[N/A]
• その他のアプリケーションのクリーンアップ	該当なし	開いているアプリケーションを閉じます。	[N/A]
▶ 自動更新			
• チャンネルの更新	安定チャンネル ベータチャンネル	ディスプレイで受信するソフトウェアの更新を設定します。	BetaからStableチャンネルに切り替えると、工場出荷時初期設定にリセットされます。工場出荷時初期設定へのリセットの詳細に関しては、59ページを参照してください。 Betaチャンネルについては、 Betaチャンネルへの切り替え を参照してください。
• 今すぐ更新プログラムを確認する	[N/A]	システムのソフトウェアの更新を確認します。 注記 システムソフトウェアの更新を確認するには、ディスプレイがインターネットに接続されている必要があります。	利用可能な更新プログラムがある場合、表示が 更新を適用する に変わります。
▶ バージョン情報			
• インタラクティブホワイトボード名	[N/A]	お使いのディスプレイの名前を選択します。	[N/A]
• ヘルプ	[N/A]	SMARTサポートサイトを表示します。	[N/A]

付録 A
IQ設定の調整

オプション	値	機能	注
<ul style="list-style-type: none"> フィードバックを送信 	[N/A]	ディスプレイに関するフィードバックをSMARTIに送信します。	[N/A]
<ul style="list-style-type: none"> インタラクティブホワイトボードの詳細 	[N/A]	[N/A]	[N/A]
<ul style="list-style-type: none"> ビルド番号 	[N/A]	iQシステムソフトウェアのバージョン番号が表示されます。	[N/A]
<ul style="list-style-type: none"> シリアル番号 	[N/A]	iQコントローラのシリアル番号が表示されます。	[N/A]
<ul style="list-style-type: none"> ファームウェアの詳細 	[N/A]	[N/A]	[N/A]
<ul style="list-style-type: none"> タッチコントローラーのバージョン 	[N/A]	ディスプレイのタッチコントローラーのバージョンを表示します。	[N/A]
<ul style="list-style-type: none"> スケーラーバージョン 	[N/A]	ディスプレイのスケーラーのバージョンを表示します	[N/A]
<ul style="list-style-type: none"> 法的情報 	[N/A]	[N/A]	[N/A]
<ul style="list-style-type: none"> 使用許諾契約書 	[N/A]	SMART使用許諾契約書を表示します。	[N/A]
<ul style="list-style-type: none"> オープンソースライセンス 	[N/A]	オープンソースライセンスを表示します。	[N/A]
<ul style="list-style-type: none"> SMART 知的所有権 	[N/A]	SMARTの知的所有権情報を表示します。	[N/A]

付録 B

SPNL-6000-V3/SBID-6000オンスクリーンディスプレイメニューの使用

オンスクリーンディスプレイメニューの設定の変更	63
画像メニューオプション	64
「サウンドメニューオプション」	64
OSDメニューオプション	65
メニューオプションのセットアップ	65
メニューオプションについて	66

SPNL-6000-V3/SBID-6000モデルでは、フロントコントロールパネルを使用して (8 ページフロントコントロールパネルを参照) オンスクリーンディスプレイメニューにアクセスできます。

オンスクリーンディスプレイメニューの設定の変更

オンスクリーンディスプレイメニューの設定を変更するには

1. フロントコントロールパネルの「メニュー」ボタンを  押します。
オンスクリーンディスプレイメニューが表示されます。
2. メニュー項目を反転表示させる「上へ移動」 および「下へ移動」 ボタンを押してから、「選択」ボタンを押します .
3. メニューのオプションを反転表示させる「上へ移動」 および「下へ移動」 ボタンを押します。
4. メニューのオプションの設定を変更する「増加」 および「減少」 ボタンを押します。

または

「選択」ボタンを押して  メニューオプションのサブメニューを開きます。(サブメニューの設定を変更する手順3と4を繰り返します。)

5. オンスクリーンメニューが閉じるまで、「メニュー」ボタンを  押したままにします。

画像メニューオプション

オプション	値	機能	注
▶ 「画像モード」	標準 ユーザー ダイナミック	画像モードを設定します	明るさ、コントラスト、鮮明度、 画像 の他のオプションをカスタマイズする「ユーザー」を選択します。 明るさ、コントラスト、鮮明度、およびその他の「 画像 」オプションに既定値を設定するその他の値のいずれかを選択します。
• 明るさ	0-100	画像と背景の明るさの設定	「 画像モード 」で「ユーザー」を選択した場合にのみ、このオプションを変更できます。
• コントラスト	0-100	画像の最も明るい部分と最も暗い部分の、明るさの差を設定します。	「 画像モード 」で「ユーザー」を選択した場合にのみ、このオプションを変更できます。
• 「鮮明度」	0-100	画像の鮮明度の設定	「 画像モード 」で「ユーザー」を選択した場合にのみ、このオプションを変更できます。
▶ 「色温度」	標準 暖色 ユーザー 寒色	色温度の設定	画像で赤、緑および青の量をカスタマイズする ユーザー を選択します。 画像で赤、緑および青の量を既定値に設定するその他の値のいずれかを選択します。
• 赤	0-100	画像の赤の量の設定	「 色温度 」で「ユーザー」を選択した場合にのみ、このオプションを変更できます。
• 「緑」	0-100	画像の緑の量を設定します。	「 色温度 」で「ユーザー」を選択した場合にのみ、このオプションを変更できます。
• 青	0-100	画像の青の量の設定	「 色温度 」で「ユーザー」を選択した場合にのみ、このオプションを変更できます。
• 「ローカル調光」	オン オフ	ローカル調光モードを有効または無効にします	[N/A]
• 「画像のリセット」	[N/A]	「 画像 」メニューのすべてのオプションを既定値にリセットします。	[N/A]

「サウンドメニューオプション」

オプション	値	機能	注
• 「ボリューム」	0-100	ボリュームの設定	[N/A]
• バランス	-50-50	左右のボリュームのバランス	該当なし
• 「サウンドリセット」	[N/A]	「 サウンド 」メニューのすべてのオプションを既定値にリセットします。	[N/A]

OSDメニューオプション

オプション	値	機能	注
• 「言語」	[言語]	オンスクリーンディスプレイの言語の設定	[N/A]
• 「OSDのOFF」	オフ 5秒 10秒 20秒	オンスクリーンディスプレイがOFFになる前のアイドル時間を設定します。	[N/A]
• 「OSDのリセット」	[N/A]	OSDメニューのすべてのオプションを既定値にリセットします	[N/A]

メニューオプションのセットアップ

オプション	値	機能	注
• 「省電力」	オン オフ	省電力モードを有効または無効にします	「省電力」モードを有効にし、ビデオ入力が無い場合、ディスプレイがOFFになる前に90秒間画面上に「信号無し」が表示されます。
• 「FBCコントロール」	オン オフ	フロントコントロールパネルを有効または無効にします	該当なし
• 「タッチしてスリープ解除」	オン オフ	画面をタッチすることで画面を復帰する機能を有効または無効にします	該当なし
▶ 「近接性」	オン オフ	存在検知を有効または無効にします。	該当なし
• ディスプレイをオンにする	オン オフ	存在検出センサーが部屋にいる人を検出するよう、ディスプレイを設定します	入室してもディスプレイをスタンバイモードのままにしておきたい場合は、このオプションを「OFF」に設定します。ディスプレイをオンにするには、ユーザーが スタンバイボタン  を押すか、画面にタッチする必要があります (タッチしてスリープ解除オプションが有効になっている場合)。
• 再作動時間	1分–10分	ディスプレイの電源がオフになってから、再び動きを検出するまでの間の期間を設定します。	このオプションを設定すると、ディスプレイをオフにしてからユーザーが部屋を退室するまで十分な時間を与えます。
• 「自動電源OFF」	15分–240分	最後に動作を検知してからオフになるまでのディスプレイの待機時間を設定します。	[N/A]

オプション	値	機能	注
• 「ビデオ入力検出」	オフ OPS/HDMI	ビデオ入力検出機能を有効にする場合、既定のビデオ入力ソースを指定します	ビデオ入力の検出について、接続されているコンピューターまたは他の入力ソースが無い場合、選択したビデオ入力ディスプレイに表示されます。 ビデオ入力検出機能は、ユーザーが会議用ディスプレイにノートパソコンを接続するシナリオに便利で、ノートパソコンを切断後ビデオ入力の既定値に戻すのを気にしません。
• 「設定のリセット」	該当なし	セットアップ設定を既定値に戻します	該当なし
• 工場出荷時リセット	該当なし	すべてのメニューでオプションを既定値にリセットします	該当なし

メニューオプションについて

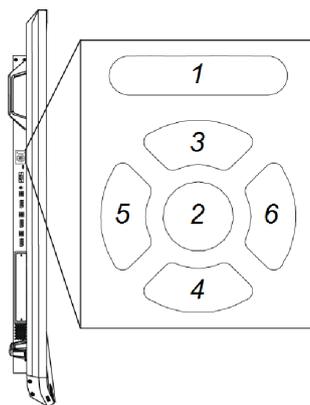
オプション	値	機能	注
• 「モデル番号」	[N/A]	ディスプレイのモデル番号を表示します。	[N/A]
• 「シリアル番号」	[N/A]	ディスプレイのシリアル番号を表示します。	[N/A]
• スカラーファームウェアバージョン	[N/A]	ディスプレイのスカラーファームウェアバージョンを表示します。	[N/A]
• 「タッチのファームウェアバージョン」	[N/A]	ディスプレイのタッチのファームウェアのバージョンを表示します	[N/A]
• 「OPSの情報」	[N/A]	アクセサリスロットにモジュールがインストールされているかどうかを表示します	[N/A]
• USBのアップデート	[N/A]	接続されたUSBドライブを使用して、スカラーファームウェアを更新	[N/A]

付録 C

SPNL-6000-V2、SPNL-6000-V1、およびSPNL-6000Pオンスクリーンディスプレイメニューの使用

オンスクリーンディスプレイメニューの設定の変更	68
SPNL-6000-V2およびSPNL-6000Pのメニューオプション	69
画像メニューオプション	69
「サウンドメニューオプション」	70
OSDメニューオプション	70
メニューオプションのセットアップ	70
「マルチウィンドウメニューオプション」	71
メニューオプションについて	72
SPNL-6000-V1メニューオプション	72
画像メニューオプション	72
「サウンドメニューオプション」	73
OSDメニューオプション	74
メニューオプションのセットアップ	74
メニューオプションについて	75

SPNL-6000-V2、SPNL-6000-V1、およびSPNL-6000Pの各モデルでは、ディスプレイ端のメニューコントロールパネルを使用してオンスクリーンディスプレイメニューにアクセスできます。



No.	名前
1	メニュー
2	SET

No.	名前
3	[Up]
4	[Down]
5	[Left]
6	[Right]

オンスクリーンディスプレイメニューの設定の変更

オンスクリーンディスプレイメニューの設定を変更するには

1. メニューコントロールパネルの「メニュー」ボタンを押します。
オンスクリーンディスプレイメニューが表示されます。
2. メニューを反転表示させる上下の矢印を押してから、「設定」を押します。
3. メニューのオプションを反転表示させる上下の矢印を押します。
4. メニューのオプションの設定を変更する左右の矢印を押します。

または

右矢印を押して、メニューオプションのサブメニューを開きます。(サブメニューの設定を変更する手順3と4を繰り返します。)

5. オンスクリーンメニューが閉じるまで、「メニュー」ボタンを押します。

SPNL-6000-V2およびSPNL-6000Pのメニューオプション

画像メニューオプション

オプション	値	機能	注
▶ 「画像モード」	標準 ユーザー ダイナミック	画像モードを設定します	明るさ、コントラスト、鮮明度、 画像 の他のオプションをカスタマイズする「ユーザー」を選択します。 明るさ、コントラスト、鮮明度、およびその他の「画像」オプションに既定値を設定するその他の値のいずれかを選択します。
• 明るさ	0～100	画像と背景の明るさの設定	「 画像モード 」で「ユーザー」を選択した場合にのみ、このオプションを変更できます。
• コントラスト	0～100	画像の最も明るい部分と最も暗い部分の、明るさの差を設定します。	「 画像モード 」で「ユーザー」を選択した場合にのみ、このオプションを変更できます。
• 「暗さ」	0～100	画像の暗い部分の明るさのレベルの設定	「 画像モード 」で「ユーザー」を選択した場合にのみ、このオプションを変更できます。
• 「色」	0～100	画像の色深度の設定	「 画像モード 」で「ユーザー」を選択した場合にのみ、このオプションを変更できます。
• 「鮮明度」	0～100	画像の鮮明度の設定	「 画像モード 」で「ユーザー」を選択した場合にのみ、このオプションを変更できます。
▶ 「色温度」	標準 暖色 ユーザー 寒色	色温度の設定	画像で赤、緑および青の量をカスタマイズする ユーザー を選択します。 画像で赤、緑および青の量を既定値に設定するその他の値のいずれかを選択します。
• 赤	0～100	画像の赤の量の設定	「 色温度 」で「ユーザー」を選択した場合にのみ、このオプションを変更できます。
• 「緑」	0～100	画像の緑の量を設定します。	「 色温度 」で「ユーザー」を選択した場合にのみ、このオプションを変更できます。
• 青	0～100	画像の青の量の設定	「 色温度 」で「ユーザー」を選択した場合にのみ、このオプションを変更できます。
• 「ローカル調光」	オン オフ	ローカル調光モードを有効または無効にします	このオプションは、SPNL-6075とSPNL-6275のモデルのみに適用されます。
• 「画像のリセット」	[N/A]	「 画像 」メニューのすべてのオプションを既定値にリセットします。	[N/A]

「サウンドメニューオプション」

オプション	値	機能	注
• 「ボリューム」	0～100	ボリュームの設定	該当なし
• バランス	L50-R50 または -50-50	左右のボリュームのバランス	[N/A]
• 「サウンドリセット」	[N/A]	「サウンド」メニューのすべてのオプションを既定値にリセットします。	該当なし

OSDメニューオプション

オプション	値	機能	注
• 「言語」	[言語]	オンスクリーンディスプレイの言語の設定	該当なし
• 「OSDのOFF」	オフ 5秒 10秒 15秒間	オンスクリーンディスプレイがOFFになる前のアイドル時間を設定します。	該当なし
• 「OSDのリセット」	該当なし	OSDメニューのすべてのオプションを既定値にリセットします	該当なし

メニューオプションのセット アップ

オプション	値	機能	注
• 「省電力」	オン オフ	省電力モードを有効または無効にします	「省電力」モードを有効にし、ビデオ入力がない場合、ディスプレイがOFFになる前に25秒間画面上に「信号無し」が表示されます。
• 「モニターID」	1-100	ディスプレイの一意のIDを指定します	[N/A]
• 「FBCコントロール」	オン オフ	フロントコントロールパネルを有効または無効にします	[N/A]
• 「タッチしてスリープ解除」	オン オフ	画面をタッチすることで画面を復帰する機能を有効または無効にします	[N/A]
▶ 「近接性」	オン オフ	存在検知を有効または無効にします。	[N/A]
• 再作動時間	1分-10分	再び動作を検知する前に待機する時間を設定します	[N/A]
• 「自動電源OFF」	15分-240分	ディスプレイをOFFにする前に待機する時間を設定します	[N/A]

オプション	値	機能	注
• 「ビデオ入力検出」	オフ OPS/HDMI OPS/DisplayPort	ビデオ入力検出機能を有効にする場合、既定のビデオ入力ソースを指定します	ビデオ入力の検出について、接続されているコンピューターまたは他の入力ソースが無い場合、選択したビデオ入力端子がディスプレイに表示されます。 ビデオ入力検出機能は、ユーザーが会議用ディスプレイにノートパソコンを接続するシナリオに便利で、ノートパソコンを切断後ビデオ入力の既定値に戻すのを気にしません。
• 「設定のリセット」	[N/A]	セットアップ設定を既定値に戻します	該当なし
• 工場出荷時リセット	該当なし	すべてのメニューでオプションを既定値にリセットします	該当なし

「マルチウィンドウメニューオプション」

オプション	値	機能	注
• 「マルチウィンドウモード」	オフ デュアル (2枚) クワッド (4枚)	ディスプレイの画面に表示されるビデオの入力数、1(「オフ」)、2(「デュアル」)または4(「クワッド」)を設定します	この機能を使用する場合は、SMARTはディスプレイに複数の入力ソースを表示中にタッチをサポートしないことにご注意ください。
• 「オーディオ入力」	ウィンドウ1 ウィンドウ2 ウィンドウ3 ウィンドウ4	複数のビデオ入力が表示された場合にオーディオ入力ソースを設定します。	「マルチウィンドウモード」で「デュアル」または「クワッド」を選択した場合のみ、このオプションを変更できます。
• 「ウィンドウ1」	「モデルによって異なります」	最初のウィンドウのビデオ入力を選択します	「マルチウィンドウモード」で「デュアル」または「クワッド」を選択した場合のみ、このオプションを変更できます。
• 「ウィンドウ2」	「モデルによって異なります」	2番目のウィンドウのビデオ入力を選択します。	「マルチウィンドウモード」で「デュアル」または「クワッド」を選択した場合のみ、このオプションを変更できます。
• 「ウィンドウ3」	「モデルによって異なります」	3番目のウィンドウのビデオ入力を選択します。	「マルチウィンドウモード」でクワッドを選択した場合のみ、このオプションを変更できます。
• ウィンドウ4	「モデルによって異なります」	4番目のウィンドウのビデオ入力を選択します。	「マルチウィンドウモード」でクワッドを選択した場合のみ、このオプションを変更できます。

メニューオプションについて

オプション	値	機能	注
• 「モデル番号」	[N/A]	ディスプレイのモデル番号を表示します。	[N/A]
• 「シリアル番号」	[N/A]	ディスプレイのシリアル番号を表示します。	[N/A]
• 「スカラーのファームウェアバージョン」	[N/A]	ディスプレイのスカラーのファームウェアのバージョンを表示します	[N/A]
• 「タッチのファームウェアバージョン」	[N/A]	ディスプレイのタッチのファームウェアのバージョンを表示します	[N/A]
• 「OPSの情報」	[N/A]	アクセサリスロットにモジュールがインストールされているかどうかを表示します	[N/A]

SPNL-6000-V1メニューオプション

画像メニューオプション

オプション	値	機能	注
▶ 「画像モード」	標準 ユーザー ダイナミック	画像モードを設定します	明るさ、コントラスト、鮮明度、 画像 の他のオプションをカスタマイズする「ユーザー」を選択します。 明るさ、コントラスト、鮮明度、およびその他の「 画像 」オプションに既定値を設定するその他の値のいずれかを選択します。
• 明るさ	0～100	画像と背景の明るさの設定	「 画像モード 」で「ユーザー」を選択した場合にのみ、このオプションを変更できます。
• コントラスト	0-100	画像の最も明るい部分と最も暗い部分の、明るさの差を設定します。	「 画像モード 」で「ユーザー」を選択した場合にのみ、このオプションを変更できます。
• ブラックレベル	0-100	画像の暗い部分の明るさのレベルの設定	「 画像モード 」で「ユーザー」を選択した場合にのみ、このオプションを変更できます。
• 「色」	0-100	画像の色深度の設定	「 画像モード 」で「ユーザー」を選択した場合にのみ、このオプションを変更できます。
• 「鮮明度」	0～100	画像の鮮明度の設定	「 画像モード 」で「ユーザー」を選択した場合にのみ、このオプションを変更できます。

オプション	値	機能	注
▶ 「色温度」	標準 暖色 ユーザー 寒色	色温度の設定	画像で赤、緑および青の量をカスタマイズするユーザーを選択します。 画像で赤、緑および青の量を既定値に設定するその他の値のいずれかを選択します。
• 赤	0～100	画像の赤の量の設定	「色温度」で「ユーザー」を選択した場合にのみ、このオプションを変更できます。
• 「緑」	0～100	画像の緑の量を設定します。	「色温度」で「ユーザー」を選択した場合にのみ、このオプションを変更できます。
• 青	0～100	画像の青の量の設定	「色温度」で「ユーザー」を選択した場合にのみ、このオプションを変更できます。
• 動画モード	オフ 低 中間 高	動画を見るための輝度、コントラスト、黒レベル、色、鮮明度を設定します。	[N/A]
• 「画像のリセット」	[N/A]	「画像」メニューのすべてのオプションを既定値にリセットします。	[N/A]

「サウンドメニューオプション」

オプション	値	機能	注
▶ 音声モード			
• 高音	L50–R50	高周波の音声を設定	[N/A]
• 低音	L50–R50	低周波の音声を設定	[N/A]
▶ EQ			
• 120Hz	0～100	音色等化を120 Hzに設定	[N/A]
• 500Hz	0～100	音色等化を500 Hzに設定	[N/A]
• 1.2kHz	0～100	音色等化を1.2kHzに設定	[N/A]
• 7.5kHz	0～100	音色等化を7.5 kHzに設定	[N/A]
• 12kHz	0～100	音色等化を12 kHzに設定	[N/A]
• バランス	L50–R50 または -50–50	左右のボリュームのバランス	[N/A]
• オーディオ入力	[現在のビデオ入力によって異なります]	オーディオ入力のソースを設定します。	HDMIが現在のビデオ入力の場合、使用できる値は、HDMIとUSBです。 OPS/HDMIが現在のビデオ入力の場合、使用できる値は、OPS DigitalとUSBです。
• 「サウンドリセット」	[N/A]	「サウンド」メニューのすべてのオプションを既定値にリセットします。	[N/A]

OSDメニューオプション

オプション	値	機能	注
• 「言語」	[言語]	オンスクリーンディスプレイの言語の設定	[N/A]
• 「OSDのOFF」	オフ 5秒 10秒 15秒間	オンスクリーンディスプレイがOFFになる前のアイドル時間を設定します。	[N/A]
• 「OSDのリセット」	[N/A]	OSDメニューのすべてのオプションを既定値にリセットします	[N/A]

メニューオプションのセット アップ

オプション	値	機能	注
• 「省電力」	オン オフ	省電力モードを有効または無効にします	「省電力」モードを有効にし、ビデオ入力が無い場合、ディスプレイがOFFになる前に90秒間画面上に「信号無し」が表示されます。
• 「モニターID」	1-100	ディスプレイの一意のIDを指定します	[N/A]
• 「FBCコントロール」	オン オフ	フロントコントロールパネルを有効または無効にします	[N/A]
▶ 「近接性」	オン オフ	存在検知を有効または無効にします。	[N/A]
• ディスプレイをオンにする	オン オフ	存在検出センサーが部屋にいる人を検出するよう、ディスプレイを設定します	入室してもディスプレイをスタンバイモードのままにしておきたい場合は、このオプションを「OFF」に設定します。ディスプレイをオンにするには、ユーザーが スタンバイボタン  を押すか、画面にタッチする必要があります (タッチしてスリープ解除オプションが有効になっている場合)。
• 再作動時間	1分-10分	ディスプレイの電源がオフになってから、再び動きを検出するまでの間の期間を設定します。	このオプションを設定すると、ディスプレイをオフにしてからユーザーが部屋を退室するまで十分な時間を与えます。
• 「自動電源OFF」	15分-240分	最後に動作を検知してからオフになるまでのディスプレイの待機時間を設定します。	[N/A]

オプション	値	機能	注
• 「ビデオ入力検出」	オン オフ	ビデオ入力検知を有効または無効にします。	ビデオ入力の検出について、接続されているコンピューターまたは他の入力ソースが無い場合、選択したビデオ入力ディスプレイに表示されます。 ビデオ入力検出機能は、ユーザーが会議用ディスプレイにノートパソコンを接続するシナリオに便利で、ノートパソコンを切断後ビデオ入力の既定値に戻すのを気にしません。
• Lync® 部屋のリセット	[N/A]	すべてのメニューでオプションを既定値にリセットします(SMART Room System™、Skype® for Businessの場合)	[N/A]
• 「設定のリセット」	[N/A]	セットアップ設定を既定値に戻します	[N/A]
• 工場出荷時リセット	[N/A]	すべてのメニューでオプションを既定値にリセットします	[N/A]

メニューオプションについて

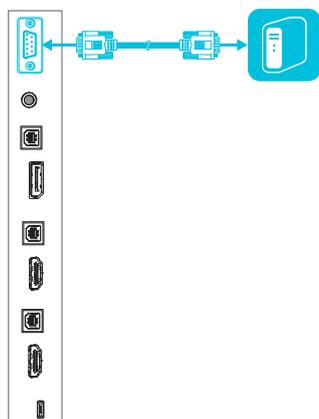
オプション	値	機能	注
• 「モデル番号」	[N/A]	ディスプレイのモデル番号を表示します。	[N/A]
• 「シリアル番号」	[N/A]	ディスプレイのシリアル番号を表示します。	[N/A]
• スカラーファームウェアバージョン	[N/A]	ディスプレイのスカラーファームウェアバージョンを表示します。	[N/A]
• 「タッチのファームウェアバージョン」	[N/A]	ディスプレイのタッチのファームウェアのバージョンを表示します	[N/A]
• 「OPSの情報」	[N/A]	アクセサリスロットにモジュールがインストールされているかどうかを表示します	[N/A]

付録 D

ディスプレイのリモート管理

コンピューターのシリアルインターフェースの設定	78
電源モード	78
コマンドと応答	79
SPNL-6000-V3/SBID-6000 コマンド インベントリ	80
電源状態	80
ソース	81
ビデオ	81
オーディオ	83
システム情報	83
SPNL-6000-V2 / SPNL-6000P コマンド インベントリ	86
電源状態	86
ソース	86
ビデオ	87
オーディオ	88
マルチウィンドウ	89
システム情報	90
SPNL-6000-V1 コマンド インベントリ	93
電源状態	93
ソース	93
ビデオ	94
オーディオ	95
システム情報	96
リモート管理の問題解決	98

RS-232ケーブルをコンピューターのシリアル出力からコネクタパネルのRS-232入力ポートに接続して、ビデオ入力やディスプレイのオン/オフを離れた場所から操作したり、コントラストや電源状態などのディスプレイの現在の設定内容を取得することができます。



重要事項

標準のRS-232ケーブルのみを使用してください。ヌルモデムケーブルを使用しないでください。ヌルモデムケーブルは通常、両端が同じ形状をしています。

注記

ディスプレイと非iQ機器のみをリモート管理できます。

コンピューターのシリアルインターフェースの設定

ディスプレイにコマンドを送信する前に、コンピューターのシリアルインターフェースを設定します。

コンピューターのシリアルインターフェースを設定する

1. ディスプレイをONにします。
2. コンピューターの電源を入れ、シリアル通信プログラムまたはターミナルエミュレーションプログラムを開始します。
3. ローカルエコーを有効にします。
4. 次の値を使用してシリアルインターフェースを設定し、ENTERを押します。

ボーレート	19200
データ長	8
パリティビット	なし
ストップビット	1

次の行にコマンドプロンプト (>) が表示されると、ディスプレイはコンピューターからのコマンドを受信できます。

注記

メッセージがなにも表示されないか、エラーメッセージが表示された場合、シリアルインターフェースが正しく設定されていません。手順3～4を繰り返してください。

電源モード

ディスプレイには3つの電源の状態があります。

- オン
- POWERSAVE
- スタンバイ

ディスプレイがONの場合、すべてのコマンドが利用可能です。ディスプレイが「待機モード」の場合、一部のコマンドが利用可能です。

コマンドと応答

ディスプレイ情報にアクセスしたり、室内コントローラシステムを使用して、ディスプレイの設定を調整するには、コマンドプロンプト (>) の後にコマンドを入力し、ディスプレイからの応答を待ちます。

正解

```
>get contrast  
contrast=55
```

室内コントローラシステムが認識しないコマンドを入力した場合、無効なコマンドという応答を受信します。

以下の例では、ユーザーがコントラストコマンドに余分なスペースを含んでいました。

誤り

```
>set con trast=65  
invalid cmd=set con trast=65
```

注記

- コマンドはASCIIで入力してください。
- コマンドは、大文字小文字を区別しません。
- 入力内容を慎重に確認してから、ENTERキーを押してください。
- 応答が返され次のコマンドプロンプトが表示されるまで、別のコマンドを送信しないでください。

利用可能なコマンドの一覧を表示するには

コマンドプロンプトで?を入力し、ENTERキーを押します。

現在の設定値を確認するには

getコマンドを使用します。

この例では、コントラストレベルを取得する方法を示します。

```
>get contrast  
contrast=55
```

設定に値を割り当てるには

setコマンドを使用します。

この例では、コントラストレベルを65に設定します。

```
>set contrast=65  
contrast=65
```

設定の値を増減するには

指定された数値で値を増減するsetコマンドを使用します。

この例では、5レベル分コントラストを上げます。

```
>set contrast +5  
contrast=70
```

この例では15レベル分コントラストを下げます。

```
>set contrast -15  
contrast=55
```

SPNL-6000-V3/SBID-6000 コマンドインベントリ

電源状態

電源状況の設定を確認するために次のコマンドを使用します。

コマンド	回答	使用可能な値	スタンバイモード
get intpowerstate	intpowerstate=[Value]	オン スタンバイ dpms novideo 確認 proximitywait ようこそ	はい
get powerstate	powerstate=[値]	オン オフ スタンバイ	はい

電源状況の設定を割当するために次のコマンドを使用します。

コマンド	使用可能な値	回答	スタンバイモード
set powerstate[値]	=on =off =standby	powerstate=[値]	はい

ソース

ソースの設定を確認するために次のコマンドを使用します。

コマンド	回答	使用可能な値	スタンバイモード
get input	input=[値]	HDMI1 HDMI2 DisplayPort ops/hdmi	はい
get videoinputs	videoinputs=[Value]	HDMI1 HDMI2 DisplayPort ops/hdmi	はい
videoinputdetectを取得します	videoinputdetect=[Value]	ops/hdmi オフ	いいえ

ソースの設定を割当するために次のコマンドを使用します。

コマンド	使用可能な値	回答	スタンバイモード
set input[値]	=hdmi1 =hdmi2 =displayport =ops/hdmi	input=[値]	はい
set videoinputdetect[Value]	=ops/hdmi =off	videoinputdetect=[Value]	いいえ

ビデオ

ビデオの設定を確認するために次のコマンドを使用します。

コマンド	回答	使用可能な値	スタンバイモード
get displaymode	displaymode=[Value]	標準 ユーザー dynamic	いいえ
get contrast	contrast=[Value]	0～100	いいえ
get brightness	brightness=[Value]	0-100	いいえ

付録 D
ディスプレイのリモート管理

コマンド	回答	使用可能な値	スタンバイモード
get sharpness	sharpness=[Value]	0-100	いいえ
get colortemp	colortemp=[Value]	標準 warm cool ユーザー	いいえ
get red	red=[Value]	0~100	いいえ
get green	green=[Value]	0~100	いいえ
get blue	blue=[Value]	0-100	いいえ

ビデオの設定を割当するために次のコマンドを使用します。

コマンド	使用可能な値	回答	スタンバイモード
set displaymode [Value]	=standard =user =dynamic	displaymode=[Value]	いいえ
set contrast [Value]	+ [Incremental value] - [Incremental value] =0-100	contrast=[Value]	いいえ
set brightness [Value]	+ [Incremental value] - [Incremental value] =0-100	brightness=[Value]	いいえ
set sharpness [Value]	+ [Incremental value] - [Incremental value] =0-100	sharpness=[Value]	いいえ
set colortemp [Value]	=normal =warm =cool =user	colortemp=[Value]	いいえ
redの [Value] を設定します	+ [Incremental value] - [Incremental value] =0-100	red=[Value]	いいえ
greenの [Value] を設定します	+ [Incremental value] - [Incremental value] =0-100	green=[Value]	いいえ
blueの [Value] を設定します	+ [Incremental value] - [Incremental value] =0-100	blue=[Value]	いいえ

オーディオ

オーディオの設定を確認するために次のコマンドを使用します。

コマンド	回答	使用可能な値	スタンバイモード
volumeを取得します	volume=[Value]	0～100	いいえ
get mute	mute=[Value]	オン オフ	いいえ
balanceを取得します	balance=[Value]	0～100	いいえ

オーディオの設定を割当するために次のコマンドを使用します。

コマンド	使用可能な値	回答	スタンバイモード
set volume[Value]	+ [Incremental value] - [Incremental value] =50-50	volume=[Value]	いいえ
set mute[Value]	=on =off	mute=[Value]	いいえ
balanceの[Value]を設定します	+ [Incremental value] - [Incremental value] =50-50	balance=[Value]	いいえ
soundresetの[Value]を設定します	=yes	soundreset=[Value]	いいえ

システム情報

システム情報の設定を確認するために次のコマンドを使用します。

コマンド	回答	使用可能な値	スタンバイモード
autopoweroffを取得します	autopoweroff=[Value]	15-240	いいえ
fwverscrを取得します	fwverscr=[Value]	[スカラーバージョンのファームウェアの番号]	はい
fwvertouchを取得します	fwvertouch=[Value]	[タッチコントローラーのファームウェアバージョンの番号]	はい
serialetouchを取得します	serialetouch=[Value]	[タッチコントローラーのシリアル番号]	いいえ
opsinfoを取得します	opsinfo=[Value]	OPS NO OPS	いいえ
usbを取得します	usb=[Value]	HDMI1 HDMI2 DisplayPort ops	いいえ

付録 D
ディスプレイのリモート管理

コマンド	回答	使用可能な値	スタンバイモード
languageを取得します	language=[Value]	日本語 アラビア語 デンマーク語 ドイツ語 スペイン語 フィンランド語 フランス語 イタリア語 オランダ語 ノルウェー語 ロシア語 スウェーデン語 Chinese_sim	いいえ
modelnumを取得します	modelnum=[Value]	[Model number]	いいえ
get serialnum	serialnum=[Value]	[Serial number]	いいえ
proximityinstalledを取得します	proximityinstalled=[Value]	はい いいえ	
proximityを取得します	proximity=[Value]	オン オフ	はい
proximityreenableを取得します	proximityreenable=[Value]	1-10	はい
proximitydetectedを取得します	proximitydetected=[Value]	はい いいえ	いいえ
powersaveを取得します	powersave=[Value]	オン オフ	いいえ
fbccを取得します	fbcc=[Value]	オン オフ	いいえ
waketotouchを取得します	waketotouch=[Value]	オン オフ	いいえ

システム情報の設定を割り当てるために次のコマンドを使用します。

コマンド	使用可能な値	回答	スタンバイモード
autopoweroffの[Value]を設定します	+ [Incremental value] - [Incremental value] =15-240	autopoweroff=[Value]	いいえ
factoryresetの[Value]を設定します	=yes	factoryreset=[Value]	はい

¹オンスクリーンディスプレイメニュー用言語のみ

付録 D
ディスプレイのリモート管理

コマンド	使用可能な値	回答	スタンバイモード
languageの[Value] ² を設定します	=English =Arabic =Danish =German =Spanish =Finnish =French =Italian =Dutch =Norwegian =Russian =Swedish =Chinese_sim	language=[Value]	いいえ
set proximity [Value]	=on =off	proximity=[Value]	はい
set proximityreenable [Value]	=1-10	proximityreenable=[Value]	はい
set touchdetected [Value]	=yes	touchdetected=[Value]	いいえ
set powersave [Value]	=on =off	powersave=[Value]	いいえ
set fbc [Value]	=on =off	fbc=[Value]	いいえ
waketotouchの[Value]を設定します	=on =off	waketotouch=[Value]	いいえ

²オンスクリーンディスプレイメニュー用言語のみ

SPNL-6000-V2 / SPNL-6000P コマンド イベント リ

電源状態

電源状況の設定を確認するために次のコマンドを使用します。

コマンド	回答	使用可能な値	スタンバイモード
get intpowerstate	intpowerstate=[Value]	オン スタンバイ dpms novideo 確認 proximitywait ようこそ	はい
get powerstate	powerstate=[値]	オン オフ スタンバイ	はい

電源状況の設定を割当するために次のコマンドを使用します。

コマンド	使用可能な値	回答	スタンバイモード
set powerstate[値]	=on =off =standby	powerstate=[値]	はい

ソース

ソースの設定を確認するために次のコマンドを使用します。

コマンド	回答	使用可能な値	スタンバイモード
get input	input=[値]	HDMI1 HDMI2 DisplayPort ops/hdmi	はい
get videoinputs	videoinputs=[Value]	HDMI1 HDMI2 DisplayPort ops/hdmi	はい
get videoinputdetect	videoinputdetect=[Value]	ops/hdmi オフ	いいえ

ソースの設定を割当するために次のコマンドを使用します。

コマンド	使用可能な値	回答	スタンバイモード
set input[値]	=hdmi1 =hdmi2 =displayport =ops/hdmi	input=[値]	はい
set videoinputdetect[Value]	=ops/hdmi =off	videoinputdetect=[Value]	いいえ

ビデオ

ビデオの設定を確認するために次のコマンドを使用します。

コマンド	回答	使用可能な値	スタンバイモード
get displaymode	displaymode=[Value]	標準 ユーザー ダイナミック	いいえ
get contrast	contrast=[Value]	0～100	いいえ
get brightness	brightness=[Value]	0～100	いいえ
get sharpness	sharpness=[Value]	0-100	いいえ
get colortemp	colortemp=[Value]	標準 暖色 寒色 ユーザー	いいえ
get red	red=[Value]	0～100	いいえ
get green	green=[Value]	0～100	いいえ
get blue	blue=[Value]	0～100	いいえ
get localdimming ³	localdimming=[Value]	オン オフ	いいえ

ビデオの設定を割当するために次のコマンドを使用します。

コマンド	使用可能な値	回答	スタンバイモード
set displaymode [Value]	=standard =user =dynamic	displaymode=[Value]	いいえ
set contrast [Value]	+ [Incremental value] - [Incremental value] =0-100	contrast=[Value]	いいえ

³SPNL-6075, SPNL-6275, SPNL-6375, SPNL-6075P, SPNL-6275P, SPNL-6375Pのみ

付録 D
ディスプレイのリモート管理

コマンド	使用可能な値	回答	スタンバイモード
set brightness[Value]	+ [Incremental value] - [Incremental value] =0-100	brightness=[Value]	いいえ
set sharpness [Value]	+ [Incremental value] - [Incremental value] =0-100	sharpness=[Value]	いいえ
set colortemp [Value]	=normal =warm =cool =user	colortemp=[Value]	いいえ
set red [Value]	+ [Incremental value] - [Incremental value] =0-100	red=[Value]	いいえ
set green [Value]	+ [Incremental value] - [Incremental value] =0-100	green=[Value]	いいえ
set blue [Value]	+ [Incremental value] - [Incremental value] =0-100	blue=[Value]	いいえ
set localdimming [Value] ⁴	=on =off	localdimming=[Value]	いいえ

オーディオ

オーディオの設定を確認するために次のコマンドを使用します。

コマンド	回答	使用可能な値	スタンバイモード
volumeを取得します	volume=[Value]	0～100	いいえ
get mute	mute=[Value]	オン オフ	いいえ
get balance	balance=[Value]	0～100	いいえ

オーディオの設定を割当するために次のコマンドを使用します。

コマンド	使用可能な値	回答	スタンバイモード
set volume[Value]	+ [Incremental value] - [Incremental value] =0-100	volume=[Value]	いいえ

⁴SPNL-6075、SPNL-6275、SPNL-6375、SPNL-6075P、SPNL-6275P、およびSPNL-6375Pのみ

付録 D
ディスプレイのリモート管理

コマンド	使用可能な値	回答	スタンバイモード
set mute[Value]	=on =off	mute=[Value]	いいえ
set balance [Value]	+ [Incremental value] - [Incremental value] =0-100	balance=[Value]	いいえ
set soundreset[Value]	=yes	soundreset=[Value]	いいえ

マルチウィンドウ

マルチウィンドウの設定を識別するために次のコマンドを使用します。

コマンド	回答	使用可能な値	スタンバイモード
get mw	mw=[Value]	オフ デュアル (2枚) クアッド (4枚)	いいえ
get mwaudioinput	mwaudioinput=[Value]	ウィンドウ1 ウィンドウ2 ウィンドウ3 ウィンドウ4	いいえ
get mwwindow1input	mwwindow1input=[Value]	HDMI1 HDMI2 DisplayPort OPS HDMI opshdmidisplayport	いいえ
get mwwindow2input	mwwindow2input=[Value]	HDMI1 HDMI2 DisplayPort OPS HDMI opshdmidisplayport	いいえ
get mwwindow3input	mwwindow3input=[Value]	HDMI1 HDMI2 DisplayPort OPS HDMI opshdmidisplayport	いいえ
get mwwindow4input	mwwindow4input=[Value]	HDMI1 HDMI2 DisplayPort OPS HDMI opshdmidisplayport	いいえ

マルチウィンドウの設定を割当するために次のコマンドを使用します。

コマンド	使用可能な値	回答	スタンバイモード
set mw [Value]	=off =dual =quad	mw=[Value]	いいえ
mwaudioinputの[Value]を設定します	=window1 =window2 =window3 =window4	mwaudioinput=[Value]	いいえ
mwwindow1inputの[Value]を設定します	=hdmi1 =hdmi2 =displayport =opshdmi =opshdmidisplayport	mwwindow1input=[Value]	いいえ
mwwindow2inputの[Value]を設定します	=hdmi1 =hdmi2 =displayport =opshdmi =opshdmidisplayport	mwwindow2input=[Value]	いいえ
mwwindow3inputの[Value]を設定します	=hdmi1 =hdmi2 =displayport =opshdmi =opshdmidisplayport	mwwindow3input=[Value]	いいえ
mwwindow4inputの[Value]を設定します	=hdmi1 =hdmi2 =displayport =opshdmi =opshdmidisplayport	mwwindow4input=[Value]	いいえ

システム情報

システム情報の設定を確認するために次のコマンドを使用します。

コマンド	回答	使用可能な値	スタンバイモード
get autopoweroff	autopoweroff=[Value]	15–240	いいえ
get fwverscr	fwverscr=[Value]	[スカラーバージョンのファームウェアの番号]	はい
get fwvertouch	fwvertouch=[Value]	[タッチコントローラーのファームウェアバージョンの番号]	はい
get serialtouch	serialtouch=[Value]	[タッチコントローラーのシリアル番号]	いいえ
get opsinfo	opsinfo=[Value]	OPS NO OPS	いいえ

付録 D
ディスプレイのリモート管理

コマンド	回答	使用可能な値	スタンバイモード
get usb	usb=[Value]	HDMI1 HDMI2 DisplayPort ops	いいえ
get language ⁵	language=[Value]	日本語 アラビア語 デンマーク語 ドイツ語 スペイン語 フィンランド語 フランス語 イタリア語 オランダ語 ノルウェー語 ロシア語 スウェーデン語 Chinese_sim	いいえ
get modelnum	modelnum=[Value]	[Model number]	いいえ
get serialnum	serialnum=[Value]	[Serial number]	いいえ
get proximityinstalled	proximityinstalled=[Value]	はい いいえ	
get proximity	proximity=[Value]	オン オフ	はい
get proximityreenable	proximityreenable=[Value]	1-10	はい
get proximitydetected	proximitydetected=[Value]	はい いいえ	いいえ
get powersave	powersave=[Value]	オン オフ	いいえ
get fbc	fbc=[Value]	オン オフ	いいえ
waketotouchを取得します	waketotouch=[Value]	オン オフ	いいえ

システム情報の設定を割り当てるために次のコマンドを使用します。

コマンド	使用可能な値	回答	スタンバイモード
set autopoweroff [Value]	+ [Incremental value] - [Incremental value] =15-240	autopoweroff=[Value]	いいえ
set factoryreset [Value]	=yes	factoryreset=[Value]	はい

⁵オンスクリーンディスプレイメニュー用言語のみ

付録 D
ディスプレイのリモート管理

コマンド	使用可能な値	回答	スタンバイモード
set language [Value] ⁶	=English =Arabic =Danish =German =Spanish =Finnish =French =Italian =Dutch =Norwegian =Russian =Swedish =Chinese_sim	language=[Value]	いいえ
set proximity [Value]	=on =off	proximity=[Value]	はい
set proximityreenable [Value]	=1-10	proximityreenable=[Value]	はい
set touchdetected [Value]	=yes	touchdetected=[Value]	いいえ
set powersave [Value]	=on =off	powersave=[Value]	いいえ
set fbc [Value]	=on =off	fbc=[Value]	いいえ
waketotouchの[Value]を設定します	=on =off	waketotouch=[Value]	いいえ

⁶オンスクリーンディスプレイメニュー用言語のみ

SPNL-6000-V1 コマンド インベントリ

電源状態

電源状況の設定を確認するために次のコマンドを使用します。

コマンド	回答	使用可能な値	スタンバイモード
get intpowerstate	intpowerstate=[Value]	オン スタンバイ dpms novideo 確認 proximitywait ようこそ	はい
get powerstate	powerstate=[値]	オン オフ スタンバイ	はい

電源状況の設定を割当するために次のコマンドを使用します。

コマンド	使用可能な値	回答	スタンバイモード
set powerstate[値]	=on =off =standby	powerstate=[値]	はい

ソース

ソースの設定を確認するために次のコマンドを使用します。

コマンド	回答	使用可能な値	スタンバイモード
get input	input=[値]	HDMI1 ops/hdmi2	はい
get videoinputs	videoinputs=[Value]	HDMI1 ops/hdmi2	はい

ソースの設定を割当するために次のコマンドを使用します。

コマンド	使用可能な値	回答	スタンバイモード
set input[値]	=hdmi1 =ops/hdmi2	input=[値]	はい

ビデオ

ビデオの設定を確認するために次のコマンドを使用します。

コマンド	回答	使用可能な値	スタンバイモード
get displaymode	displaymode=[Value]	標準 ユーザー dynamic	いいえ
get contrast	contrast=[Value]	0～100	いいえ
get brightness	brightness=[Value]	0～100	いいえ
get tint	tint=[Value]	0～100	いいえ
get sharpness	sharpness=[Value]	0～100	いいえ
get colortemp	colortemp=[Value]	標準 warm cool ユーザー	いいえ
get red	red=[Value]	0～100	いいえ
get green	green=[Value]	0～100	いいえ
get blue	blue=[Value]	0～100	いいえ
get blacklevel	blacklevel=[Value]	0～100	いいえ

ビデオの設定を割当するために次のコマンドを使用します。

コマンド	使用可能な値	回答	スタンバイモード
set displaymode [Value]	=standard =user =dynamic	displaymode=[Value]	いいえ
set contrast [Value]	+ [Incremental value] - [Incremental value] =0-100	contrast=[Value]	いいえ
set brightness [Value]	+ [Incremental value] - [Incremental value] =0-100	brightness=[Value]	いいえ
set tint [Value]	+ [Incremental value] - [Incremental value] =0-100	tint=[Value]	いいえ
set sharpness [Value]	+ [Incremental value] - [Incremental value] =0-100	sharpness=[Value]	いいえ
set colortemp [Value]	=normal =warm =cool =user	colortemp=[Value]	いいえ

付録 D
ディスプレイのリモート管理

コマンド	使用可能な値	回答	スタンバイモード
set red [Value]	+ [Incremental value] - [Incremental value] =0-100	red=[Value]	いいえ
set green [Value]	+ [Incremental value] - [Incremental value] =0-100	green=[Value]	いいえ
set blue [Value]	+ [Incremental value] - [Incremental value] =0-100	blue=[Value]	いいえ
set blacklevel [Value]	+ [Incremental value] - [Incremental value] =0-100	blacklevel=[Value]	いいえ
set picturereset [Value]	=yes	picturereset=[Value]	いいえ

オーディオ

オーディオの設定を確認するために次のコマンドを使用します。

コマンド	回答	使用可能な値	スタンバイモード
volumeを取得します	volume=[Value]	0～100	いいえ
get mute	mute=[Value]	オン オフ	いいえ
get audioinput	audioinput=[Value]	usbaudio HDMI OPSDigital	いいえ
get treble	treble=[Value]	0～100	いいえ
get bass	bass=[Value]	0～100	いいえ
get audioeq120	audioeq120=[Value]	0～100	いいえ
get audioeq500	audioeq500=[Value]	0～100	いいえ
get audioeq1200	audioeq1200=[Value]	0～100	いいえ
get audioeq7500	audioeq7500=[Value]	0～100	いいえ
get audioeq12k	audioeq12k=[Value]	0～100	いいえ
get balance	balance=[Value]	0～100	いいえ

オーディオの設定を割当するために次のコマンドを使用します。

コマンド	使用可能な値	回答	スタンバイモード
set volume [Value]	+ [Incremental value] - [Incremental value] =0-100	volume=[Value]	いいえ

付録 D
ディスプレイのリモート管理

コマンド	使用可能な値	回答	スタンバイモード
set mute[Value]	=on =off	mute=[Value]	いいえ
set audioinput [Value]	=usbudio =HDMI =OPSDigital	audioinput=[Value]	いいえ
set treble [Value]	+ [Incremental value] - [Incremental value] =0-100	treble=[Value]	いいえ
set bass [Value]	+ [Incremental value] - [Incremental value] =0-100	bass=[Value]	いいえ
set audioeq120 [Value]	=0-100	audioeq120=[Value]	いいえ
set audioeq500 [Value]	=0-100	audioeq500=[Value]	いいえ
set audioeq1200 [Value]	=0-100	audioeq1200=[Value]	いいえ
set audioeq7500 [Value]	=0-100	audioeq7500=[Value]	いいえ
set audioeq12k [Value]	=0-100	audioeq12k=[Value]	いいえ
balanceの[Value]を設定します	+ [Incremental value] - [Incremental value] =0-100	balance=[Value]	いいえ
set soundreset [Value]	=yes	soundreset=[Value]	いいえ

システム情報

システム情報の設定を確認するために次のコマンドを使用します。

コマンド	回答	使用可能な値	スタンバイモード
get autopoweroff	autopoweroff=[Value]	15-240	いいえ
get fwverscr	fwverscr=[Value]	[スカラーバージョンのファームウェアの番号]	はい
get fwvertouch	fwvertouch=[Value]	[タッチコントローラーのファームウェアバージョンの番号]	はい
get serialtouch	serialtouch=[Value]	[タッチコントローラーのシリアル番号]	いいえ
get opsinfo	opsinfo=[Value]	OPS NO OPS	いいえ

付録 D
ディスプレイのリモート管理

コマンド	回答	使用可能な値	スタンバイモード
get language ⁷	language=[Value]	日本語 アラビア語 デンマーク語 ドイツ語 スペイン語 フィンランド語 フランス語 ヘブライ語 イタリア語 オランダ語 ノルウェー語 ポルトガル語 ロシア語 スウェーデン語 トルコ語 Chinese_sim	いいえ
get modelnum	modelnum=[Value]	[Model number]	いいえ
get serialnum	serialnum=[Value]	[Serial number]	いいえ
get proximityinstalled	proximityinstalled=[Value]	はい いいえ	
get proximity	proximity=[Value]	オン オフ	はい
get proximityreenable	proximityreenable=[Value]	1-10	はい
get proximitydetected	proximitydetected=[Value]	はい いいえ	いいえ
get monitorid	monitorid=[Value]	1-100	いいえ

システム情報の設定を割り当てるために次のコマンドを使用します。

コマンド	使用可能な値	回答	スタンバイモード
set autopoweroff [Value]	+ [Incremental value] - [Incremental value] =15-240	autopoweroff=[Value]	いいえ
set factoryreset [Value]	=yes	factoryreset=[Value]	はい

⁷オンスクリーンディスプレイメニューの言語のみ

コマンド	使用可能な値	回答	スタンバイモード
set language [Value] ⁸	=English =Arabic =Danish =German =Spanish =Finnish =French =Hebrew =Italian =Dutch =Norwegian =Portuguese =Russian =Swedish =Turkish =Chinese_sim	language=[Value]	いいえ
set proximity [Value]	=on =off	proximity=[Value]	はい
set proximityreenable [Value]	=1-10	proximityreenable=[Value]	はい
set monitorid [Value]	+ [Incremental value] - [Incremental value] =1-100	monitorid=[Value]	いいえ
set lyncroom [Value]	=reset	lyncroom=[Value]	いいえ
set touchdetected [Value]	=yes	touchdetected=[Value]	いいえ

リモート管理の問題解決

次の表は、リモート管理で一般的な問題を提示し、それらを解決する方法について説明します。

問題	解決法
リモート管理に関する一般的な問題が発生している	<ul style="list-style-type: none"> すべてのケーブルがしっかり接続されていることを確認します。 ディスプレイがONの場合にのみ動作する一部のコマンドにご注意ください。 SPNL-6000-V3/SBID-6000モデルは、80 ページを参照してください。 SPNL-6000-V2 and SPNL-6000Pモデルは、86 ページを参照してください。 SPNL-6000-V1モデルは、93 ページを参照してください。 シリアルインタフェース設定を構成します。 78 ページコンピューターのシリアルインターフェースの設定参照。
その他のリモート管理の問題がある、または上記のソリューションで解決できない問題が発生している	54 ページ <i>その他の問題</i> に関しては、SMARTナリッジベースを参照してください。

⁸オンスクリーンディスプレイメニューの言語のみ

付録 E

ハードウェア環境コンプライアンス

SMART Technologiesは、安全かつ環境にやさしい方法で電子機器の製造、販売、廃棄を実現するために、グローバルな取り組みを支持しています。

廃電気電子機器 (WEEE)

電気・電子機器には、環境と人間の健康に有害な物質が含まれています。×印のついた車輪付きのゴミ箱マークは、製品が適切なリサイクルの流れで、通常廃棄物ではないように処分される必要があることを示しています。



More information

詳細についてはsmarttech.com/complianceをご参照ください。

SMART TECHNOLOGIES

smarttech.com/support

smarttech.com/contactsupport

smarttech.com/ja/kb/171167